

第4章 海岸保全施設の整備に関する基本的な事項

4-1 地区毎の海岸整備の方向性

海岸保全の基本理念、基本方針及び防護、環境、利用に配慮した施策を、伊豆小笠原諸島沿岸で具体的に展開していくために、沿岸を立地特性などにより「防護」、「環境」、「利用」の面から特徴のあるゾーンに区分し、これに基づき海岸整備の方向を以下に示す。

4-1-1 海岸整備の方向を検討する手順

海岸整備の方向を検討する手順を図 4-1 に示す。

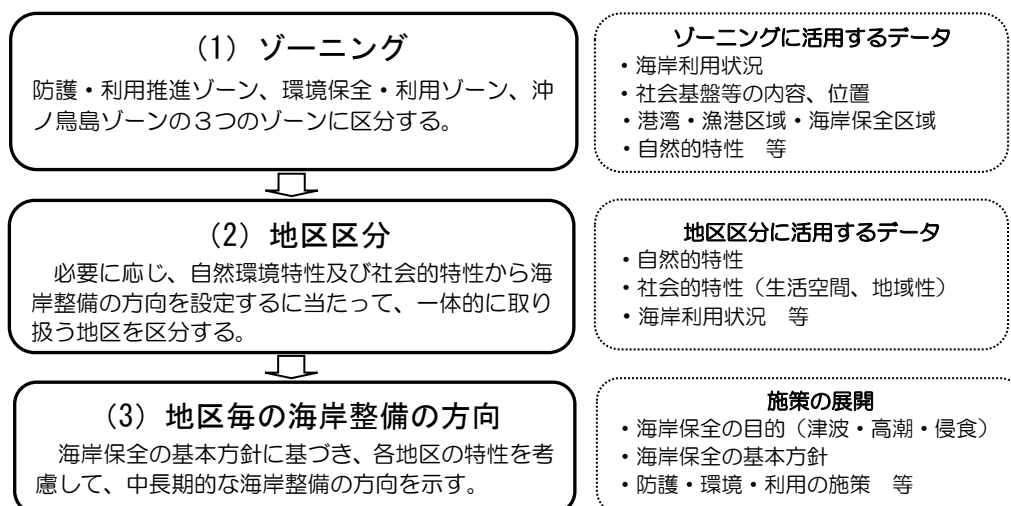


図 4-1 ゾーニングと海岸整備の方向を検討する手順

4-1-2 ゾーニング

ゾーニングは、自然的特性や社会的特性などの特徴を踏まえ、現行の海岸保全区域の指定状況を目安に、次の3つのゾーンに区分する。

防護・利用推進ゾーン	防護を図りながら環境や利用の両面にも配慮していくゾーン
環境保全・利用ゾーン	現状の自然環境を維持・保全しながら利用していくゾーン
沖ノ鳥島ゾーン	国土保全を積極的に推進するゾーン

大島、利島、新島、式根島、神津島、三宅島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、父島、母島の11島については、島毎に「防護・利用推進ゾーン」と「環境保全・利用ゾーン」の2ゾーンに区分する。沖ノ鳥島は「沖ノ鳥島ゾーン」とする。上記の11島及び沖ノ鳥島以外の無人島などについては、一括して「環境保全・利用ゾーン」とする。

次に、ゾーンの考え方を表 4-1 に示す。

硫黄島及び南鳥島については、利用形態が特化しており、一般の利用がなされないことから、無人島と同様の扱いとする。

表 4-1 ゾーンの考え方

ゾーン	考え方
防護・利用推進ゾーン	海上交通の拠点や漁業基地となる港湾・漁港が立地するとともに、自然環境・景観資源が共存する海岸である。海岸に近接して集落が形成され、海水浴等の海洋性レクリエーションの場として活発な海岸利用が行われている海岸であり、「防護」を図りながら、「環境保全」「適正利用」の両面にも配慮していくゾーンである。
環境保全・利用ゾーン	自然環境・景観資源が豊富な海岸線であり、海岸背後に近接して集落等は形成されていない。一部の海岸は海水浴等の海洋性レクリエーションの場として利用されているが、無人島を含む海岸線の多くは海崖や岩礁となっており、日常的な適正な管理を行い、現状の自然環境を維持・保全しながら利用していくゾーンである。
沖ノ鳥島ゾーン	我が国最南端の島であり、周囲 11km のサンゴ礁から形成され、満潮時には北小島、東小島が海面上に残る。我が国の排他的経済水域等の面から重要な海岸であり、厳しい気象・海象条件に対する「防護」をより確実にするとともに、サンゴ礁等の恵まれた自然環境を保全し、国土保全に支障を及ぼさない範囲で「適正利用」を図っていくゾーンである。

4-1-3 各島の地区区分と海岸整備の方向

ゾーンの考え方に従って、大島から母島までの各島について地区区分を行うとともに、地区ごとの現況特性及びこれを踏まえた海岸整備の方向を以下に示す。

(1) 大島

大島は、島の西部～北部と南部に人口が集中しており、このエリアを中心とした防護・利用推進ゾーンを設定し、海岸保全施設整備を推進する。

海岸のゾーンと地区区分を図 4-2 に示す。また、地区ごとの現況特性及び海岸整備の方向を表 4-2 に示す。

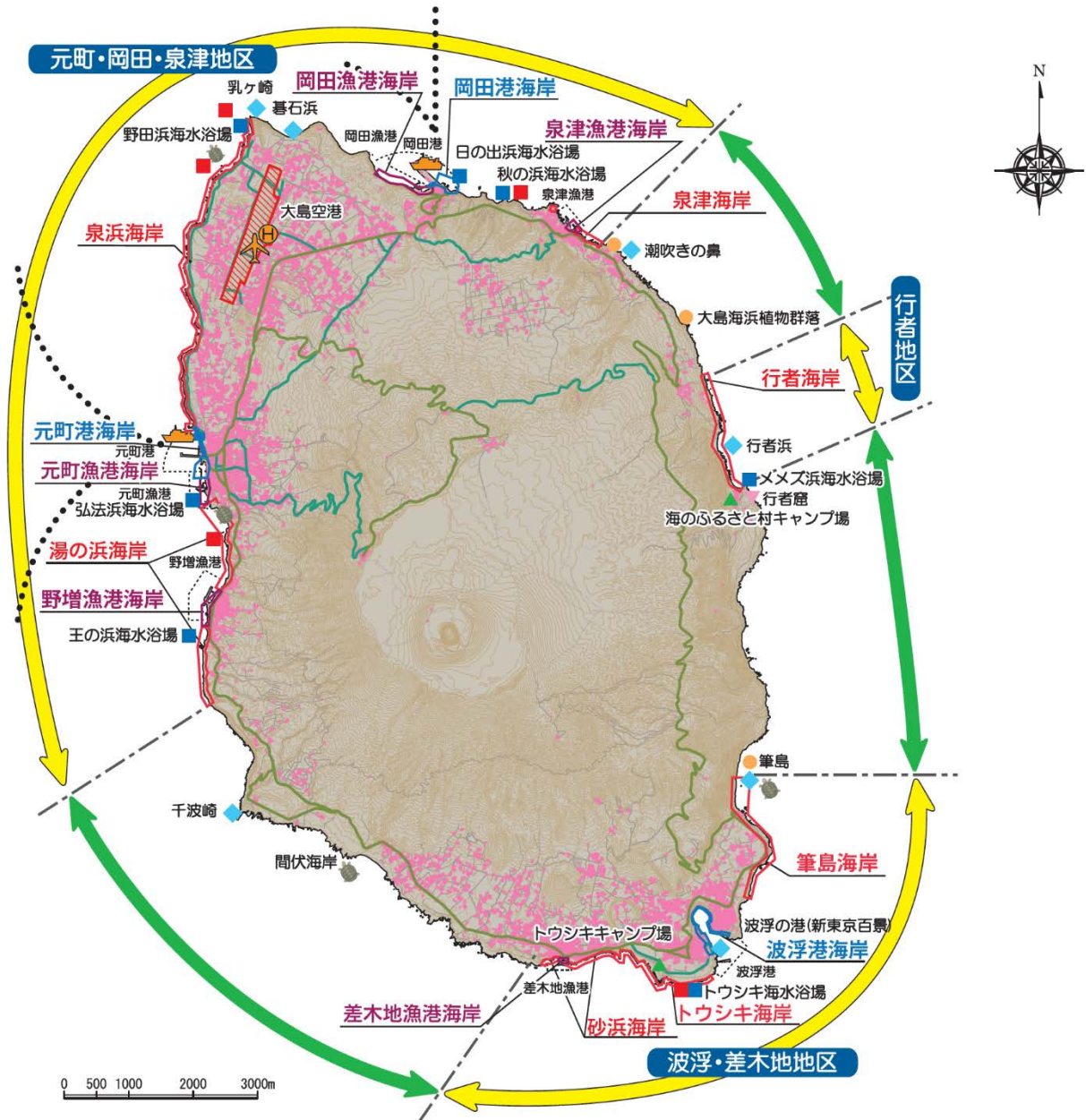
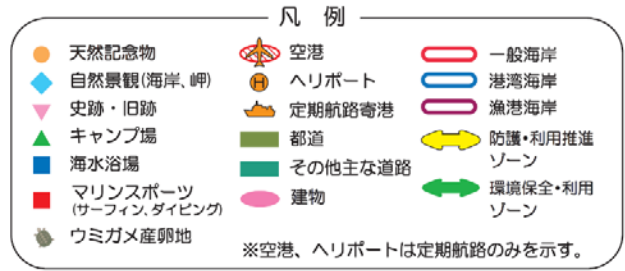


図 4-2 海岸のゾーンと地区区分 (大島)

表 4-2 海岸の現況特性及び海岸整備の方向（大島）

元町・岡田・泉津地区

防護・利用推進ゾーン 大島で最も賑わいのある元町、岡田を擁する地区であり、交通の便も良いことから海水浴、ダイビング等の海岸利用が盛んである。

〔自然的特性〕

- ・海岸線は、主に岩礁、礫浜であるが弘法浜や湯の浜等、砂浜も一部ある。
- ・碁石浜(源の朝古)や乳ヶ崎（大島最北端岬）は、自然の海岸・岬となっている。
- ・泉浜海岸には、伊豆大島ジオパークのジオサイトの野田浜がある。
- ・湯の浜海岸、泉浜海岸等の砂浜では、ウミガメの上陸・産卵が見られる。
- ・湯の浜海岸の「王の浜」の沖合には、テーブルサンゴの群落地がある。

〔社会的特性〕

- ・元町港及び岡田港は、東京、横浜、熱海、伊東、稲取等との海上交通の拠点であり、平成 27 年の船舶による来島者は約 21 万人となっている（平成 28 年度 大島町町勢要覧 資料編）。
- ・本地区背後の平坦地には集落があり大島町の人口の約 7 割が居住している。
- ・弘法浜は、海水浴、サーフィン等の利用が盛んであり、野田浜や秋の浜では、ダイビングの利用が盛んである。
- ・元町港から大島最北端の乳ヶ崎にのびるサンセット・パームラインは、サイクリング、ドライブ等、海の美しい景観を楽しむ場であり、賑わいを見せている。
- ・元町港では、夏祭り花火大会、トライアスロン大会等のイベントが開催されている。
- ・岡田港では、椿祭り期間中に朝市が開催されている。
- ・漁業では、イセエビ、採貝、採藻が行われている。



野増漁港海岸（漁港海岸）
背後に集落のある岩礁海岸



元町港海岸（港湾海岸）
元町港の突堤を挟んだ南北に連なる岩礁海岸



泉浜海岸（一般海岸）
海岸に沿ってサイクリングロードがある
岩礁海岸



岡田漁港海岸（漁港海岸）
風化や台風等の高波浪により崩壊・侵食した土砂の堆積がみられる崖状の海岸



岡田港海岸(港湾海岸)
離岸堤、突堤及び人工海浜が整備され、海水浴場として利用されている海岸



泉津漁港海岸(漁港海岸)
長年の侵食により形成された崖状の海岸

海岸整備
の方向

- 背後人口が多く海岸利用も盛んなことから、安全確保のための海岸の防護を図るとともに、来島者の様々なレクリエーション利用に対応できる海岸としていく。
- 環境にも配慮した海岸にしていく。

行者地区

**防護・利用
推進ゾーン** 大島の中心部から離れた位置にある東海岸中央部の地区であり、礫浜海岸と近接して公園やキャンプ場等の施設がある。

[自然的特性]

- 行者海岸は主に礫浜や崖からなっており、行者浜とメメズ浜がある。
- 島の東側の岩礁に挟まれたポケットビーチである。

[社会的特性]

- 行者海岸は、海水浴場に利用されており、毎年6月には行者祭りが催されている。
- 隣接する大島自然公園や海のふるさと村キャンプ場がある。



行者海岸<メメズ浜>(一般海岸)
大島自然公園と海のふるさと村を結ぶ海岸遊歩道が背後にある海岸



行者海岸<行者浜>(一般海岸)
海岸は礫浜であり階段護岸が整備されている

海岸整備
の方向

- 海岸に隣接したキャンプ場等と連携した環境教育や学習の場としていく。

波浮・差木地地区

防護・利用推進ゾーン 大島の南東部に位置する波浮港を中心とする地区であり、波浮港や筆島等の優れた景観の海岸がある。

[自然的特性]

- 海岸線は、主に岩礁であり、崖海岸が続いている。部分的に礫浜のポケットビーチがある。
- 筆島は、都指定天然記念物である。
- 筆島海岸では、ウミガメの上陸が確認されている。
- 筆島、波浮港及びトウシキ海岸は、伊豆大島ジオパークのジオサイトがある。

[社会的特性]

- 波浮港及び差木地漁港の背後の平坦地には集落があり、大島町の人口の約3割が居住している。
- 波浮の港は、新東京百景に選定されており、昔ながらの港町情緒を残している。また、波浮港見晴台や踊り子の里資料館等の観光資源がある。
- 筆島は、日本の渚百選（国土交通省）に選定されている。



波浮港海岸（港湾海岸）
島の南側の波浮港にある岩礁海岸



筆島海岸（一般海岸）
背後が崖状の砂浜海岸で、沖合の筆島は、景観に優れ、日本の渚百選に選定

海岸整備の方向

- 筆島や波浮の港という優れた景観を有する地区であり、これら景観に配慮し、海辺の散策や海水浴、サーフィン等が楽しめる海岸としていく。
- 環境にも配慮した海岸にしていく。

環境保全・
利用ゾーン

大島の南西部及び東部にある海岸であり、海岸背後は崖地が多いが、国指定天然記念物の植物群落やウミガメの産卵場となっている砂浜がある。

[自然的特性]

- 大島海浜植物群落は、国指定天然記念物、潮吹の鼻は、都指定天然記念物である。
- 千波崎海岸には、松林がある。
- 間伏（砂の浜：さのはま）海岸は、背後に海浜植物が繁茂している数少ない自然の砂浜である。海岸の一部は、ウミガメの産卵場となっている。

[社会的特性]

- 間伏（砂の浜：さのはま）海岸は、大島で最も延長の長い砂浜海岸であり、散策に利用されている。
- 間伏（砂の浜：さのはま）海岸では、ウミガメの保護を目的とした活動が行われている。



間伏（砂の浜：さのはま）海岸（一般公共海岸）
大島で最も延長の長い砂浜海岸



間伏（砂の浜：さのはま）海岸（一般公共海岸）



大島海浜植物群落（一般公共海岸）
国指定史跡名勝天然記念物



千波崎（一般公共海岸）

海岸保全
の方向

- 島の南西部、差木地から野増に至る海岸には、ウミガメが産卵する砂の浜（さのはま）海岸があり、環境保全のために規制等も含めて適切な管理を行っていく。あわせて利便性の向上を図るため海岸へのアクセス路の確保に努める。
- 島の北東部、泉浜から行者に至る海岸には、天然記念物に指定された海浜植物群落や松林や崖状の良好な自然景観があり、適切な管理によりこれら自然環境を保全していく。

(2) 利島

利島は、島の北部の利島港を中心として人口が集中していることから、このエリアを防護・利用推進ゾーンとして位置づけ、背後住民の生活を保全するための海岸保全施設整備を推進する。

海岸のゾーンと地区区分を図4-3に示す。また、地区ごとの現況特性及び海岸整備の方向を表4-3に示す。

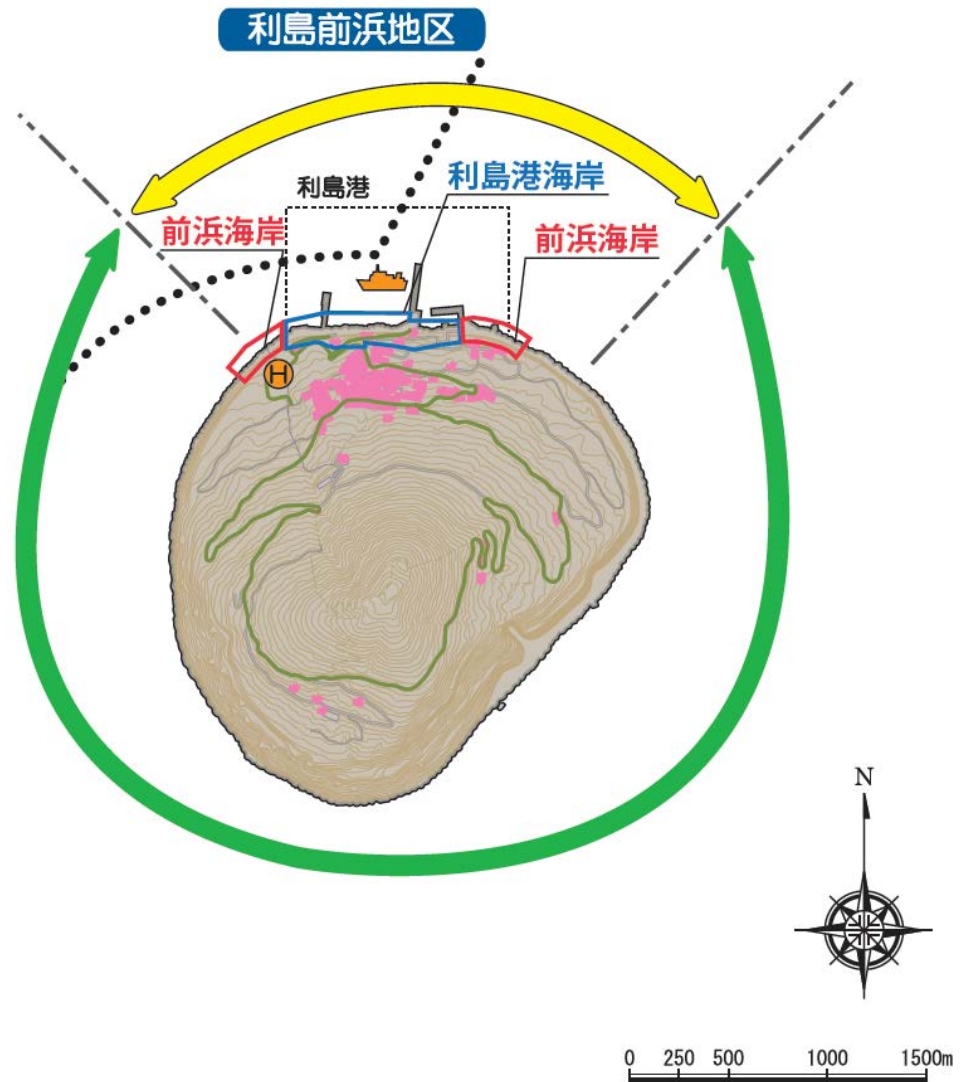
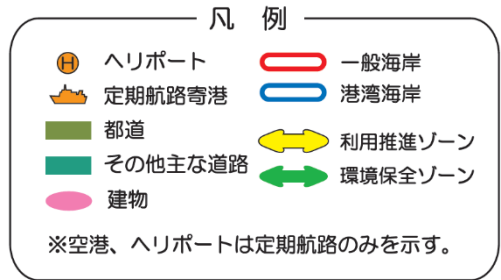


図4-3 海岸のゾーンと地区区分（利島）

表 4-3 海岸の現況特性及び海岸整備の方向（利島）

利島前浜地区

<p>防護・利用 推進ゾーン</p>	<p>利島の北部に位置する利島港周辺の海岸で、背後に唯一の集落が形成されている。</p>
<p>[自然的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 海岸線は、礫浜や崖地で形成されており、崖地では崩落が見られる。 利島港海岸は、海水浴に利用している。 <p>[社会的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 利島港の背後のやや緩やかな北斜面に集落が形成されており、島の人口は 317 人（平成 28 年 11 月 1 日現在、広報としま 平成 28 年 12 月）である。 前浜海岸の背後には、ヘリポートが整備されており、平成 27 年度の大島－利島間のヘリコムーター利用者数は年間 2,390 人である。これは、船舶利用者 15,895 人に対して、約 15%の利用率である。 島で唯一の港である利島港は、冬季において低い定期船就航率となっている。平成 27 年度の定期船就航率は、12 月が最低の 61.8%、5 月が最高の 92.4%となっている（広報としま 平成 28 年 5 月）。 漁業では、イセエビ、採貝、採藻が行われている。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="268 857 727 1200">  </div> <div data-bbox="815 857 1273 1200">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="276 1205 738 1263"> <p>利島港海岸（港湾海岸） 利島の北側にあり海岸線は玉石浜と崖地</p> </div> <div data-bbox="828 1205 1310 1294"> <p>前浜海岸（一般海岸） 利島港海岸に隣接する玉石の海岸と背後の崖地</p> </div> </div>	
<p>海岸整備 の方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> 利島港周辺の海岸は、玉石浜が侵食を受けており、背後にヘリポートや集落があることから、波浪の低減や施設の老朽化への対応を図るとともに、親水性にも配慮していく。

<p>環境保全・ 利用ゾーン</p>	<p>利島前浜地区以外の海岸であり、海岸線の背後には急な崖地が続いている。</p>
<p>[自然的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 海岸線の背後には、平地が少なく崖地が続いている。 <p>[社会的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 崖地の背後に続く斜面には、島の主な特産品である樺の畑がある。 	
<p>海岸保全 の方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> 崖地や背後に続く斜面の樺畑などの自然景観を保全するとともに、釣り等での海岸利用について安全に対する注意を喚起するなど、適切な管理を行っていく。

(3) 新島

新島は、島の西部及び北部に人口が集中しているとともに、東部の羽伏浦海岸は、サーフィン等のマリンスポーツのメッカとなっている。

このため、この3エリアを防護・利用推進ゾーンに設定し、海岸保全施設整備を推進する。

海岸のゾーンと地区区分を図4-4に示す。また、地区ごとの現況特性及び海岸整備の方向を表4-4に示す。



図 4-4 海岸のゾーンと地区区分 (新島)

表 4-4 海岸の現況特性及び海岸整備の方向（新島）

本村前浜地区

防護・利用推進ゾーン 新島最大の集落、本村地区に近接する地区で、海水浴等に利用されている砂浜がある。

[自然的特性]

- 新島港海岸や和田浜海岸は、天然の白砂の海岸である。
- 新島港海岸の黒根海水浴場は、JLA 認定海水浴場に認定されている。
- 本村前浜海水浴場は、日本の水浴場 88 選（環境省）に選定されている。
- 和田浜海岸の背後地には、海浜植物が生育している。
- 間々下浦海岸の砂浜の背後地は、崖状のため雨水による崩壊が著しい。
- 間々下浦海岸には、環境省による絶滅危惧Ⅱ種（絶滅のおそれが増大している種）に指定されているソナレセンブリが自生している。
- 間々下浦海岸や和田浜海岸等の砂浜の一部では、ウミガメが上陸・産卵が見られる。

[社会的特性]

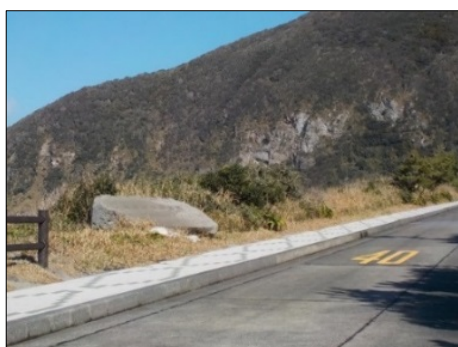
- 新島の玄関口である新島港や新島空港に近く交通の利便性が良い。
- 背後の本村地区は、新島村の総人口の約 7 割が居住する島最大の集落である。
- 海水浴、マリンスポーツ等の海岸利用が行われている。
- 間々下浦海岸の背後には、ガラス工芸体験施設や温泉等がある。



和田浜海岸（一般海岸）
新島港海岸の北側につながる砂浜海岸で背後に村道がある



新島港海岸（港湾海岸）
背後に集落があり夏季は海水浴等で賑わう白砂の海浜



海浜植物群落(和田浜海岸)
和田浜海岸の上に海浜植物群落が自生している



間々下浦海岸（一般海岸）
白砂の美しい風光明媚な海浜

海岸整備の方向

- 新島港に近く新島最大の集落を擁する地区であり、海水浴場としても利用されていることから、港湾利用者の利便性に配慮しながら、砂浜の侵食防止や来島者の様々な海洋性レクリエーション利用に対応できる海岸としていく。
- 環境にも配慮した海岸にしていく。

若郷地区

防護・利用推進ゾーン 新島の北西部にある地区で、漁港と背後に集落があり、海水浴等で利用される砂浜海岸では侵食が見られる。

[自然的特性]

- ・海岸線は、黒色の砂浜海岸であり、一部には岩礁が点在しており、砂浜の侵食がみられる。

[社会的特性]

- ・若郷漁港の背後には、新島村の総人口の約1割が居住する集落がある。
- ・海浜の一部が漁業活動に利用されている。
- ・浜・磯遊び、海水浴等の海岸利用が行われている。
- ・悪天候時にジェット船がつくこともあり、一部港湾利用がされている。
- ・12月初旬に海へ神輿を担ぎ込む若郷師走祭がある。



若郷地区
島の北西部に位置する黒色の砂浜海岸



若郷地区

海岸整備の方向

- ・海岸背後には集落があることから、砂浜の侵食防止と海浜の安定を図るとともに、浜・磯遊び、海水浴等の海岸利用の向上を図っていく。
- ・漁港利用者の利便性に配慮する。

羽伏浦地区

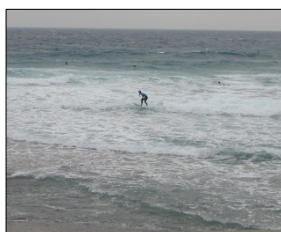
防護・利用推進ゾーン 新島の東部にある地区で、南北に続く砂浜は、サーフィンや海水浴等に利用されている。

[自然的特性]

- ・羽伏浦海岸は、長さ約7kmの白砂の自然海浜であり、新東京百景に選定されている。
- ・砂浜の一部では、ウミガメの上陸・産卵が見られる。
- ・背後の砂丘には、海浜植物群がある。

[社会的特性]

- ・羽伏浦海岸は新島港とは反対の東側に位置し、背後には都立羽伏浦公園がある。
- ・羽伏浦海岸は、サーフィンが一年中楽しみ、世界的にも有名なサーフィンの開催場となっている。また、海水浴等の海岸利用も行われている。



サーフィン大会(羽伏浦海岸)
選手による競技



サーフィン大会(羽伏浦海岸)
海岸から競技を楽しむ見学者

海岸整備の方向

- ・サーフィン、海水浴等の海岸利用が行われており、砂浜を生かしたマリンスポーツの利用・振興に対応していく。
- ・環境にも配慮した海岸にしていく。

環境保全・
利用ゾーン

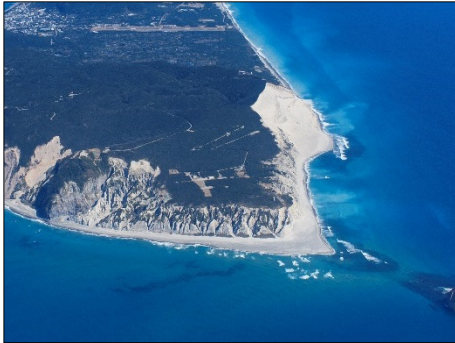
新島の北部及び南部にある崖状の海岸である。

[自然的特性]

- 羽伏浦海岸の砂浜に白ママ層の海蝕崖が続いており、優れた自然景観を有する。
- 海岸線は、崖状の海岸である。
- 淡井浦海岸には砂浜があり、前面海域の流れが速い。

[社会的特性]

- 崖状の海岸背後には、特に集落や公共施設等はない。
- 淡井浦海岸は、サーフィン等のスポーツ利用をしている。



白ママ層の海蝕崖(遠景)



白ママ層の海蝕崖(近景)



淡井浦海岸



淡井浦海岸(砂浜と崖地)

海岸保全
の方向

- 白ママ層の海蝕崖の優れた自然景観を保全するとともに、流れの速い淡井浦海岸の安全な利用について海岸利用者へ周知する等の適切な管理を行っていく。

(4) 式根島

式根島は、東部から北部にかけて人口が集中していることから、このエリアを防護・利用推進ゾーンに設定し、海岸保全施設整備を推進する。

また、西部から南部の環境保全・利用ゾーンのうち、西部の海岸では海水浴やキャンプに利用されている海岸があることから、環境保全に配慮しつつ安全な利用が図れるように、適切な管理を推進していく。

海岸のゾーンと地区区分を図 4-5 に示す。また、地区ごとの現況特性及び海岸整備の方向を表 4-5 に示す。

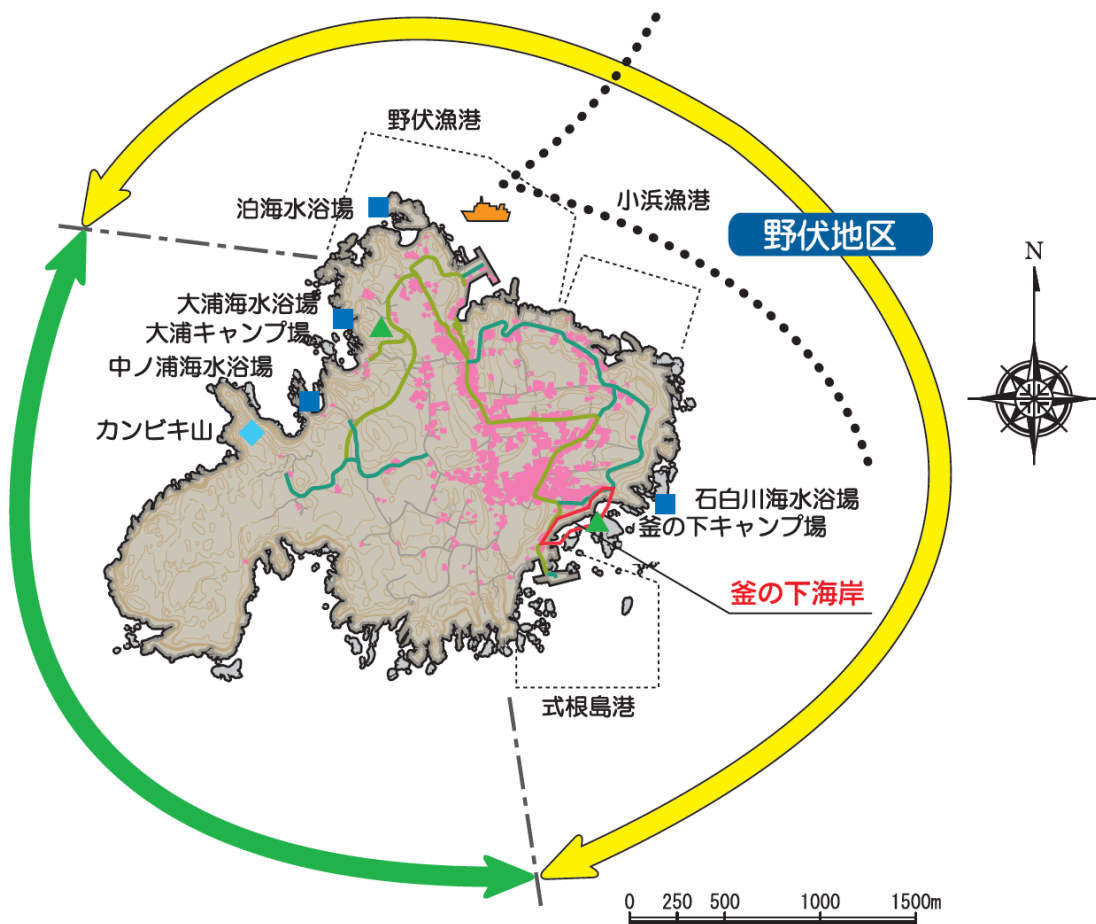
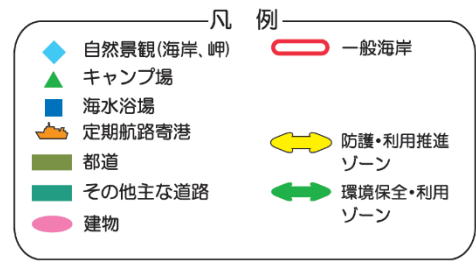





図 4-5 海岸のゾーンと地区区分 (式根島)

表 4-5 海岸の現況特性及び海岸整備の方向（式根島）

野伏地区

防護・利用 推進ゾーン	式根島の東部にある地区で、港湾及び漁港の背後に集落が形成され、海岸は海水浴や海中温泉等で利用されている。
<p>[自然的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 釜の下海岸には、遠浅の砂浜や松が自生する岩礁がある。 泊海水浴場は、日本の水浴場 88 選（環境省）に選定されている。 <p>[社会的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 釜の下海岸の背後には、集落がある。 釜の下海岸は、サーフィンや貝取りなど島民に親しまれている。 磯遊び、海水浴等の海岸利用が行われている。 式根島港周辺には、岩礁に湧く海中温泉や露天風呂等がある。 	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>釜の下海岸<石白川>(一般海岸)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>釜の下海岸<釜の下>(一般海岸)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>泊海水浴場*(一般公共海岸)</p> </div> </div> <p>※ 新島村 HP より (https://nijima.com/photo_studio/2013/2013-1107-1543-90.html)</p>	
海岸整備 の方向	<ul style="list-style-type: none"> 海岸背後に集落があり、海水浴客等の観光客が多く来島していることから、道路や集落等への越波防止を図るとともに、入り江の活用等、観光と連携した海岸の利用を図っていく。

環境保全・ 利用ゾーン	式根島の西部にある地区で、集落から離れており、海岸線は複雑に入り込んでいる。
<p>[自然的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 海岸線は、複雑に入り込んだ海岸であり、その湾奥に白浜の海岸がある。 崖状の岬に囲まれる波静かな入江が多い。 砂浜の一部では、岩が露出傾向にある。 <p>[社会的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 海岸の背後には、集落や公共施設等はない。 入江を利用した海水浴場や温泉等がある。 	
海岸保全 の方向	<ul style="list-style-type: none"> 入江等に形成された砂浜の適正な利用に配慮するとともに、岩が露出傾向にある砂浜については注視し、自然環境の保全を図っていく。海岸利用について安全に対する注意を喚起するなど、適切な管理を行っていく。

(5) 神津島

神津島は、島の西部に人口が集中するとともに、東部には港湾、漁港が整備されていることから、この2エリアを防護・利用推進ゾーンに設定し、海岸保全施設整備を推進する。

海岸のゾーンと地区区分を図4-6に示す。また、地区ごとの現況特性及び海岸整備の方向を表4-6に示す。

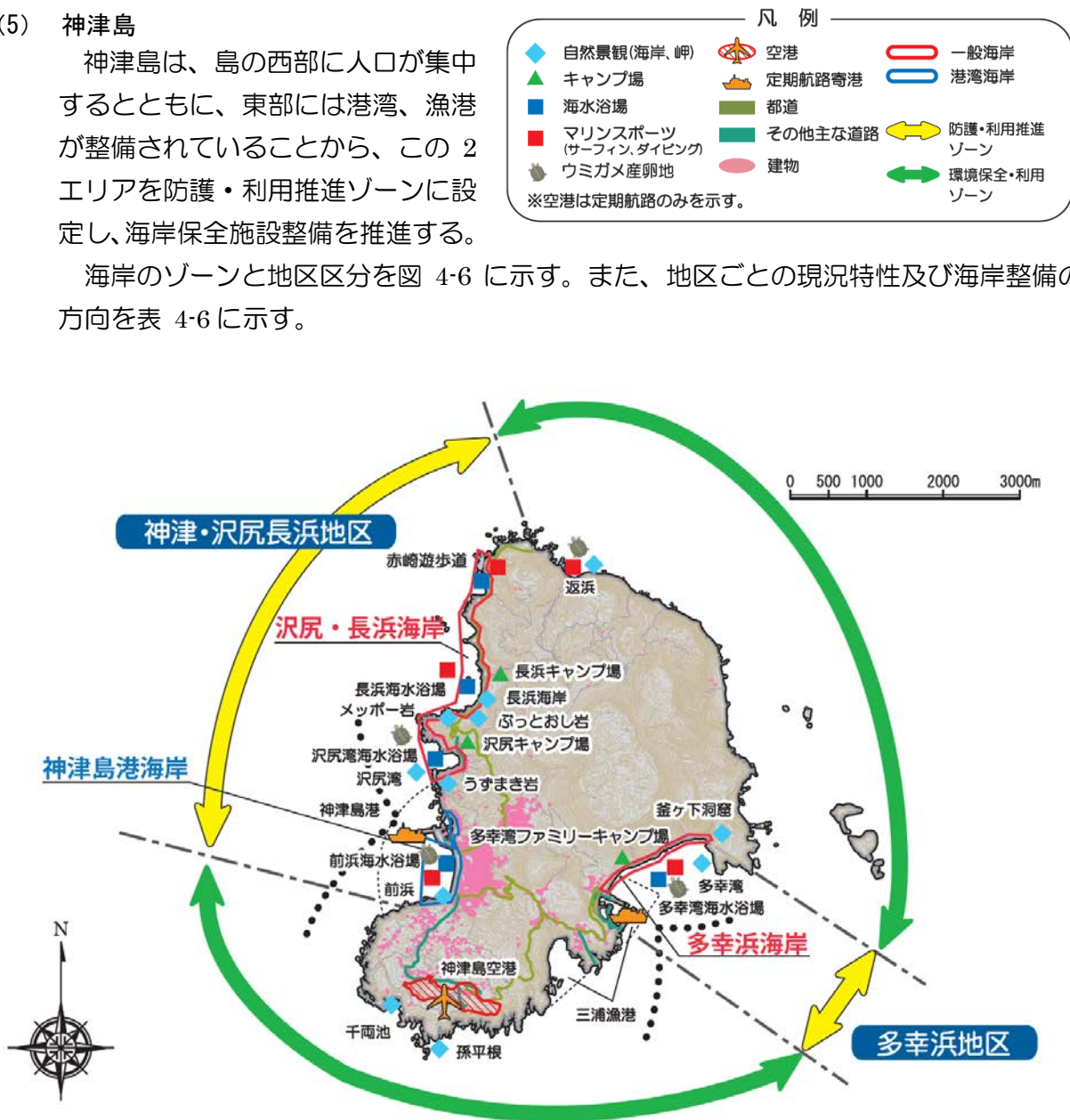


図 4-6 海岸のゾーンと地区区分 (神津島)

表 4-6 海岸の現況特性及び海岸整備の方向（神津島）

神津・沢尻長浜地区

**防護・利用
推進ゾーン** 神津島の西部の神津島港周辺及びその北に続く地区で、砂浜、礫浜や奇岩からなっている。

[自然的特性]

- 神津島港海岸は、天然の白砂が広がるポケットビーチ状の海浜であるが、土砂の供給源がないため侵食傾向にある。また、海浜の南側は崖海岸である。
- 神津・沢尻・長浜地区の北側に位置する沢尻・長浜海岸には、砂浜、礫浜や奇岩がある。
- 砂浜の一部で、ウミガメの産卵・上陸がみられる。
- 神津島港から沢尻湾にかけては、禁漁区域が設定され、イセエビ等の採捕を禁止するなど、漁業資源保護を行っている。

[社会的特性]

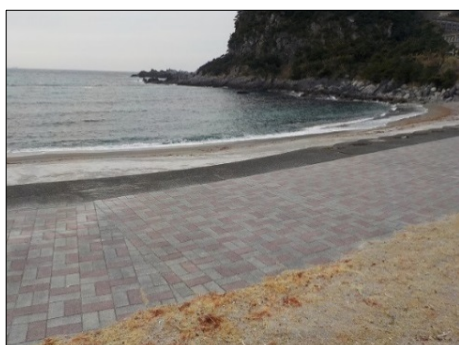
- 神津島港海岸は、神津島港や集落に近く、海水浴、マリンスポーツ、ビーチバレー、ダイビング、体験学習等の様々な海岸利用が行われ、島で一番の賑わいを見せている。
- 沢尻・長浜海岸は、海水浴やキャンプ等に利用されている。



神津島港海岸(港湾海岸)
景観に配慮した離岸堤(潜堤)の設置が進む砂浜で、集落に近く賑わいのある海水浴場として利用



沢尻・長浜海岸<長浜>(一般海岸)
白砂の砂浜、奇岩と五色の玉石海岸で、キャンプ場があり海水浴場として利用



沢尻・長浜海岸<沢尻>(一般海岸)
白砂の砂浜で、キャンプ場があり海水浴場として利用

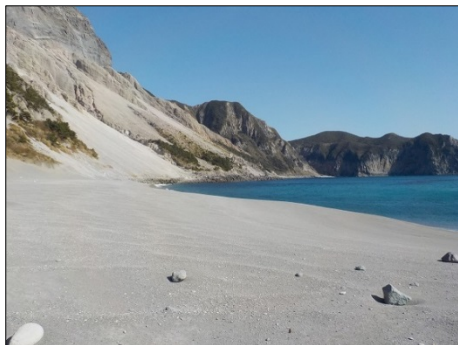


沢尻・長浜海岸<長浜>(一般海岸)
ぶっとおし岩

海岸整備
の方向

- 集落と港に近く、島で一番賑わう海水浴場のある海岸があることから、砂浜の侵食の防止や既設護岸の老朽化への対応を図るとともに、様々な海洋性レクリエーションへの対応を図っていく。
- 環境にも配慮した海岸にしていく。

多幸浜地区

防護・利用 推進ゾーン	神津島の東部にある地区で、キャンプやマリンスポーツ等で利用されている。
<p>[自然的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 多幸浜海岸の背後には天上山の白い崖が広がり、雄大な景観を形成しているが、崖の崩壊がみられる。 <p>[社会的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 多幸浜海岸は、神津島港とは反対の東側に位置し、マリンスポーツ等の海岸利用が行われている。 神津島港の補完港である三浦漁港の泊地には、崩壊した土砂の堆積がみられる。 三浦漁港の中の丸島では、海水浴の利用が増えている。 	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>多幸浜海岸（一般海岸）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>幸浜海岸背後の天上山</p> </div> </div>	
海岸整備 の方向	<ul style="list-style-type: none"> 天上山から崩れ落ち、堆積傾向にある砂浜の維持管理を図りながら、多幸湾の砂浜と断崖の自然景観を保全するとともに、海水浴利用や隣接する既存の教育・学習施設等と連携した海岸利用を図っていく。

環境保全・ 利用ゾーン	神津島の南部及び北東部にある地区で、ほとんどが岩礁海岸となっている。
<p>[自然的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境保全・利用ゾーンの大半は、海蝕崖であり、岩礁や奇岩が点在する。 返浜は、島北部に位置し、式根島、新島、利島、大島を一望することができる。 集落から離れた返浜や奇岩と断崖に囲まれた千両池がある。 <p>[社会的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 返浜は、サーフィンでの利用が主である。 岩礁海岸の背後には集落は形成されていない。 	
海岸保全 の方向	<ul style="list-style-type: none"> 海岸線は、集落から離れた断崖となっており、アクセスの確保されている海岸は少ないが、一部サーフィンや釣り等に利用されている海岸があることから、安全な利用について海岸利用者へ周知する等の適切な管理を行っていく。

(6) 三宅島

三宅島は、島の北部、西部、南部、東部と沿岸部に集落が分散していることから、住居が集中する4エリアを防護・利用推進ゾーンに設定し、海岸保全施設整備を推進する。

海岸のゾーンと地区区分を図4-7に示す。また、地区ごとの現況特性及び海岸整備の方向を表4-7に示す。

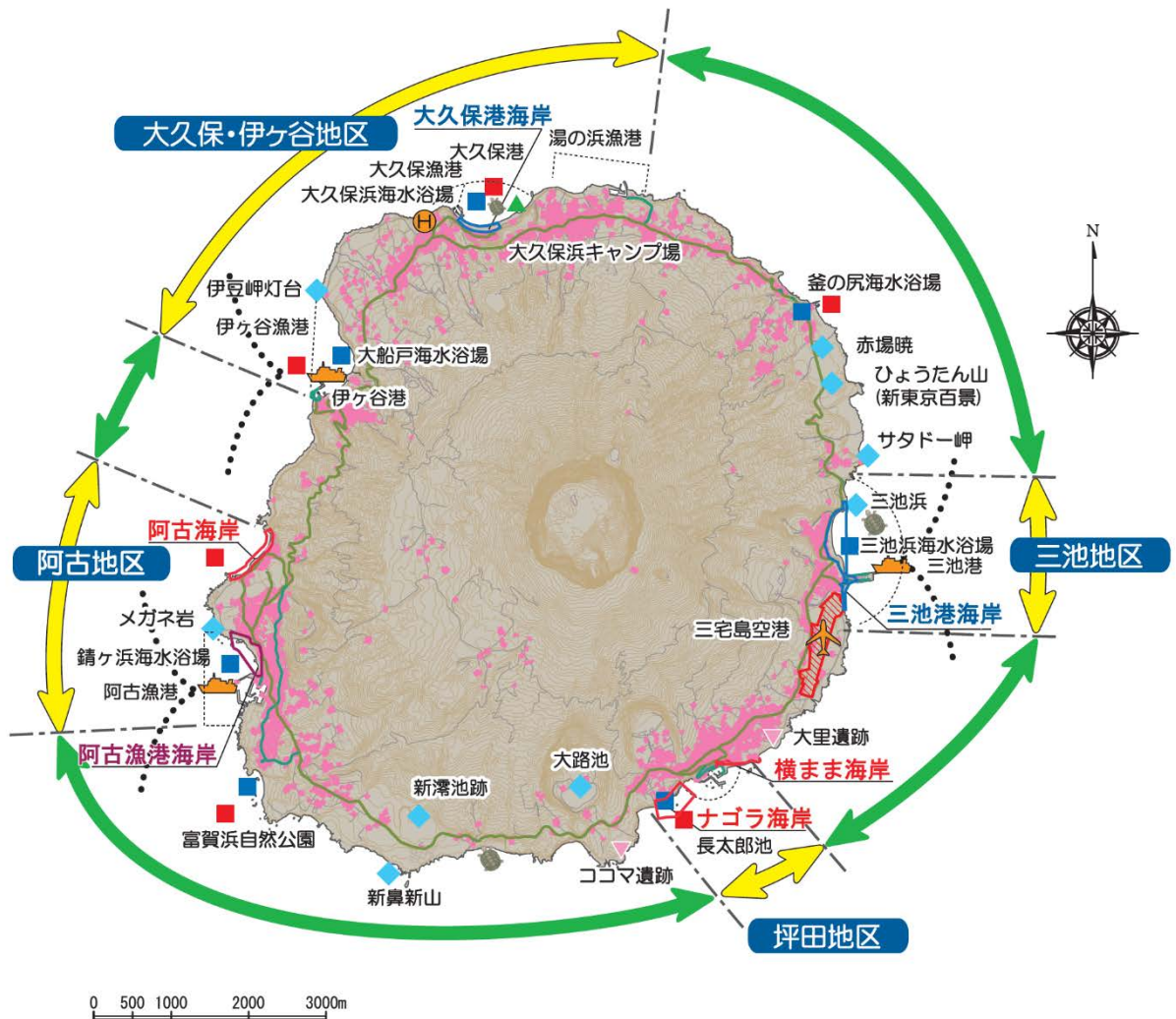
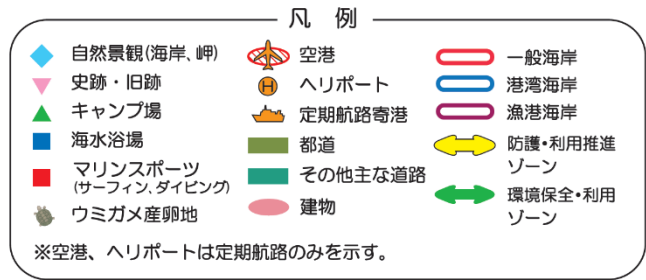


図 4-7 海岸のゾーンと地区区分 (三宅島)

表 4-7 海岸の現況特性及び海岸整備の方向（三宅島）

阿古地区

<p>防護・利用 推進ゾーン</p>	<p>三宅島の南西部の地区で、海水浴、ダイビング及び磯釣り等に利用されている。</p>
<p>[自然的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸線は、岩礁海岸とその間に形成しているポケットビーチ状の海浜で構成されている。 ・溶岩流が波で侵食されてできた奇岩の「メガネ岩」がある。 ・環境省による絶滅危惧Ⅱ種（絶滅のおそれが増大している種）に指定されているカムリウミスズメや絶滅危惧ⅠB類（近い将来に絶滅の危険性が高い種）に指定されているアカコッコなどの貴重な動物が生息している。 <p>[社会的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿古漁港海岸は、海水浴に利用されており、その周辺には、ふるさと体験ビレッジ、遊歩道がある。 ・阿古漁港には、定期船が着岸する岸壁があり、背後に集落がある。 ・阿古海岸の前面海域は、ダイビングポイントの「夕景浜」がある。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="263 757 721 1099"> </div> <div data-bbox="847 757 1305 1099"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="263 1104 750 1193"> <p>阿古漁港海岸（漁港海岸） 比較的勾配のある砂利浜で、夏季にはレクリエーションに利用</p> </div> <div data-bbox="847 1104 1353 1193"> <p>阿古海岸（一般海岸） 阿古漁港に近接する岩礁海岸で背後に旧阿古小中学校、前面海域はダイビングに利用</p> </div> </div>	
<p>海岸整備 の方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸の背後に道路が近接していることから、火山活動に伴う沈下を踏まえ、道路への越波防止や海浜侵食への対応を図る。また、海水浴やダイビング等に配慮した海岸利用の向上、遊歩道や休憩所等の利便施設の充実を図っていく。 ・環境にも配慮した海岸にしていく。

大久保・伊ヶ谷地区

**防護・利用
推進ゾーン** 三宅島の北部の地区で、海水浴やキャンプ等に利用されている。

[自然的特性]

- 海岸線は、溶岩質の砂礫浜や磯浜となっている。
- 環境省による絶滅危惧 I B 類（近い将来に絶滅の危険性が高い種）に指定されているアカコッコやウチヤマセンニュウなどの貴重な動物が生息している。

[社会的特性]

- 伊ヶ谷漁港周辺は、ダイビングやシーカヤック等に利用される。また、伊ヶ谷漁港は定期船が着岸し、海の玄関口としての役割も果たす。
- 大久保港海岸は、ダイビングやキャンプ等に利用されている。
- 湯の浜漁港周辺は、磯釣り等に利用され、背後には「三宅村交通公園」があり、交通安全講習等に利用される。
- 伊ヶ谷漁港や大久保港の背後には集落がある。



伊ヶ谷漁港(漁港区域)
比較的勾配のある砂利浜で、夏場にはダイビング、シーカヤック等に利用



大久保港海岸(港湾海岸)
島で最も長い延長を有する砂礫浜の海岸で、海水浴やダイビング等に利用



湯の浜漁港(漁港区域)
磯浜は、磯釣り等に利用され、背後に交通公園がある

海岸整備
の方向

- 背後集落の地盤が低いことから、既存護岸の改良や擁壁の強化など、海岸線の防護を図るとともに、漁港においても侵食や越波被害が確認された場合は、海岸保全施設の整備を検討していく。また、海水浴場等として利用されていることから、海浜へのアクセスの向上を図る。
- 漁港利用者や環境に配慮した海岸にしていく。

三池地区

**防護・利用
推進ゾーン** 三宅島の東部にある三池港周辺の地区で、礫浜は海水浴等に利用されている。

[自然的特性]

- 海岸線は溶岩質の礫浜となっており、侵食傾向にある。
- 三池浜の背後は三方を山で囲まれた平地（海拔 6m 程度）となっている。
- 環境省による絶滅危惧 I B 類（近い将来に絶滅の危険性が高い種）に指定されているアカコッコなどの貴重な動物が生息している。

[社会的特性]

- 三池港及び三宅島空港があり交通の拠点となっている。
- 三池港地区は、平成 12 年の火山活動の影響により、平成 25 年まで準居住区域とされていた。平成 27 年には三宅島の居住地区における規制は全て解除された（三宅村 村勢要覧 資料集）。
- 三池港海岸の三池浜海水浴場は、火山ガス規制の解除に伴い、平成 28 年度より利用が開始している。
- 三池浜の背後の平地には集落がある。



三池港海岸（港湾海岸）
海浜が侵食されている



三池港海岸（港湾海岸）
既設防潮堤の背後の平地に集落がある

海岸整備
の方向

- 砂浜の背後に集落があることから、火山活動に伴う沈下を踏まえ、侵食の防止と海岸保全施設の充実を図る。また、海水浴場等として利用されていることから、海浜へのアクセスの向上を図る。
- 環境にも配慮した海岸にしていく。

坪田地区

**防護・利用
推進ゾーン** 三宅島の南東部にある坪田漁港の周辺の海岸で、砂礫浜があり、海水浴等にも利用されている。

[自然的特性]

- 海岸線は、溶岩質の岩礁と磯浜となっている。
- 環境省による絶滅危惧 I B 類（近い将来に絶滅の危険性が高い種）に指定されているアカコッコやオーストンヤマガラなどの貴重な動物が生息している。

[社会的特性]

- 横まま海岸は、坪田漁港の東側に広がる溶岩質の砂礫浜であり、釣り、サーフィンやスキューバダイビング等に利用されている。
- ナゴラ海岸は、坪田漁港の西側にある磯浜で、天然の岩で囲まれた長太郎池を有し、海水浴、スキューバダイビングや魚などの自然観察場として利用されている。
- 坪田漁港の背後地の高台には、集落が形成されている。
- 周辺には、三宅島自然ふれあいセンターが整備されている。



横まま海岸
坪田漁港の東側に広がる砂礫浜



ナゴラ海岸(長太郎池)
天然タイドプール背後に整備された階段護岸

海岸整備
の方向

- 沈下による汀線後退に伴って背後地の侵食が懸念されることから、背後の集落や道路の防護を図るとともに、磯場や岩礁等を生かした環境教育の場としての利用を図る。
- マリンスポーツ利用や環境に配慮した海岸にしていく。

環境保全・
利用ゾーン

三宅島の防護・利用推進ゾーン以外の地区で、岩礁海岸となっている。

[自然的特性]

- 三宅島は火山島であり、火山活動に由来するジオスポットが多数点在する。
- 北東部のひょうたん山が新東京百景に選定されているほか、赤場暁の大溶岩原やサタドー岬の溶岩流岬等がある。
- 南部の海沿いには富賀浜園地や新鼻新山、内陸には新滞池跡や大路池などがあり、周辺にはアカッコ館が整備されている。
- 富賀浜には、日本最北のテーブルサンゴの群落地がある。

[社会的特性]

- 北東部の砂礫浜は、海水浴場（釜の尻）として利用されている。
- 南部の海岸にある富賀浜園地は、ダイビングスポットとなっている。
- 海岸の背後には、集落や公共施設等はほとんどない。



ひょうたん山（新東京百景）とサタドー岬



大路池とアカッコ館



新鼻新山と新滞池跡



富賀浜自然公園

海岸保全
の方向

- 南部の海岸にある富賀浜は、海域公園地区に指定されており、適切な管理により自然景観を保全する。
- その他の岩礁海岸についても、自然景観を保全するとともに、釣り等での海岸利用について安全に対する注意を喚起するなど、適切な管理を行っていく。

(7) 御蔵島

御蔵島は、島の北東部に位置する御蔵島港を中心として人口が集中していることから、このエリアを防護・利用推進ゾーンに設定し、海岸保全施設整備を推進する。

海岸のゾーンと地区区分を図 4-8 に示す。また、地区ごとの現況特性及び海岸整備の方向を表 4-8 に示す。

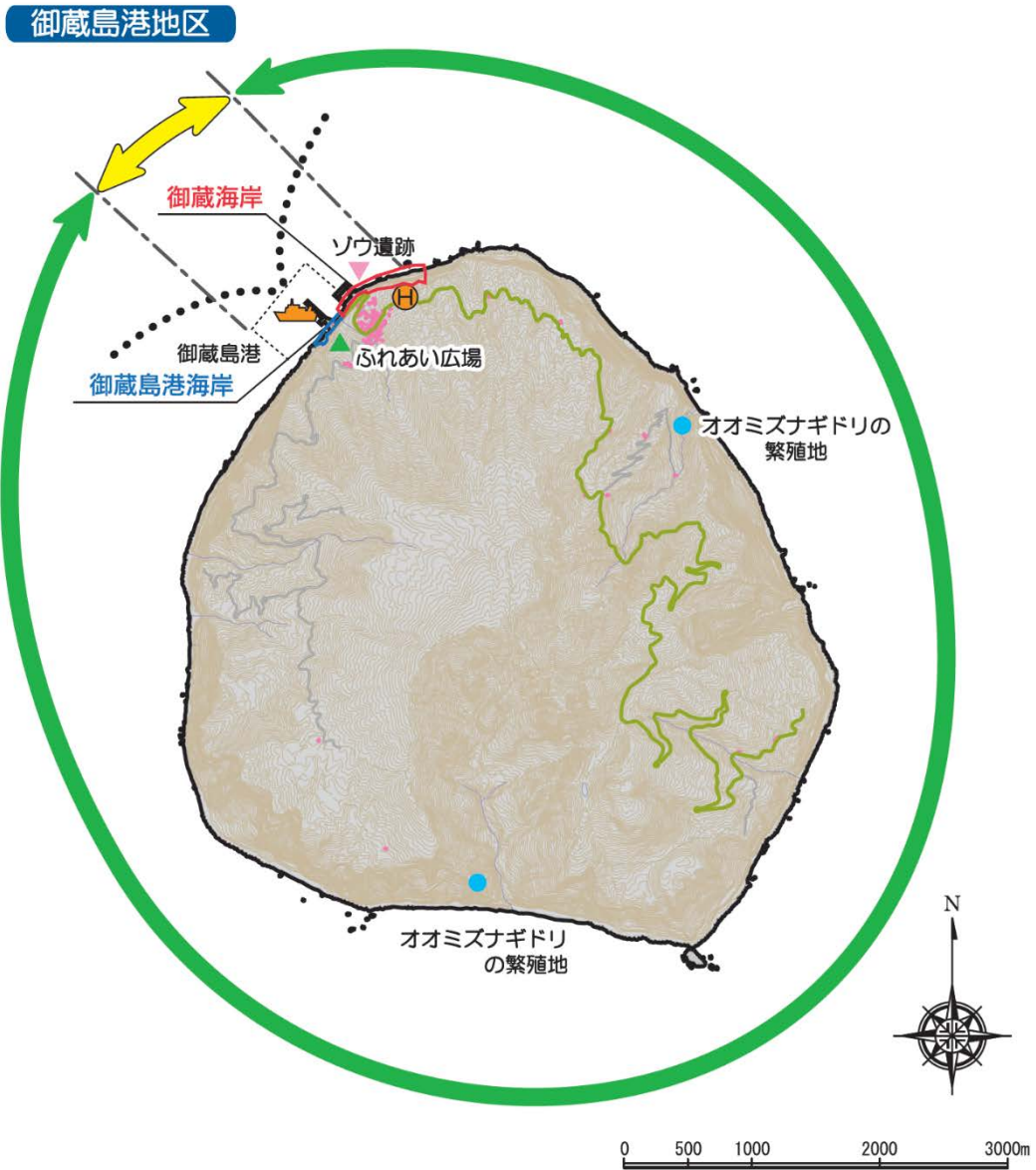
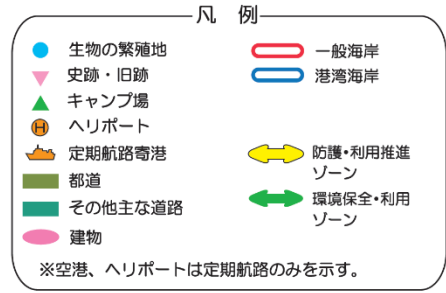




図 4-8 海岸のゾーンと地区区分（御蔵島）

表 4-8 海岸の現況特性及び海岸整備の方向（御蔵島）

御蔵島港地区

<p>防護・利用 推進ゾーン</p>	<p>御蔵島の北西部にある御蔵島港周辺の地区で、背後の高台に集落があり、海岸線は崖地となっている。</p>
<p>[自然的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸線は、礫浜となっており、背後の崖が崩落し礫の供給源となっている。 ・御蔵島港の栈橋からイルカやウミガメがみられる。 <p>[社会的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島で唯一の港である御蔵島港は、冬季において低い定期船就航率となっている。平成27年の就航率は、1月が最低で33.87%、5月が最高で91.94%であった（広報みくら 平成28年1月）。 ・御蔵島港の背後には集落、ふれあい広場（アウトドア施設）、ヘリポート等がある。 ・縄文時代の住居跡であるソウ遺跡が御蔵島港付近の崖の上にあつて、都指定の旧跡となっている。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="327 705 790 1052">  <p>御蔵島港海岸（港湾海岸）</p> </div> <div data-bbox="853 705 1316 1052">  <p>御蔵海岸（一般海岸）</p> </div> </div>	
<p>海岸整備 の方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集落があることから、海岸背後の道路への越波、浸水等への対応を図るとともに、背後にある既存の野外レクリエーション施設等と連携した利用を図っていく。 ・環境にも配慮した海岸にしていく。

<p>環境保全・ 利用ゾーン</p>	<p>御蔵島港地区以外の地区で、崖地となっている。</p>
<p>[自然的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸線の背後は、崖地となっており、原生林、海蝕崖、海へ落ちる白滝など自然環境に富んでいる。 ・渡り鳥であるオオミズナギドリの繁殖地となっている。 <p>[社会的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・崖地の背後には、特に集落や公共施設等はない。 ・御蔵島の沿岸では、バンドウイルカが生息しており、イルカウォッチングやイルカと一緒に泳ぐことができる。 	
<p>海岸保全 の方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・島の外周が崖地となっており、原生林、黒崎高尾の海蝕崖等の自然景観を保全するとともに、釣り等での海岸利用について安全に対する注意を喚起するなど、適切な管理を行っていく。

(8) 八丈島

八丈島は、島の中心部の北東側海岸から南西側海岸までの間、及び、島の南側と南東側に人口が集中していることから、これらの人口集中地域を踏まえて、3 エリアを防護・利用推進ゾーンに設定し、海岸保全施設整備を推進する。

海岸のゾーンと地区区分を図 4-9 に示す。また、地区ごとの現況特性及び海岸整備の方向を表 4-9 に示す。

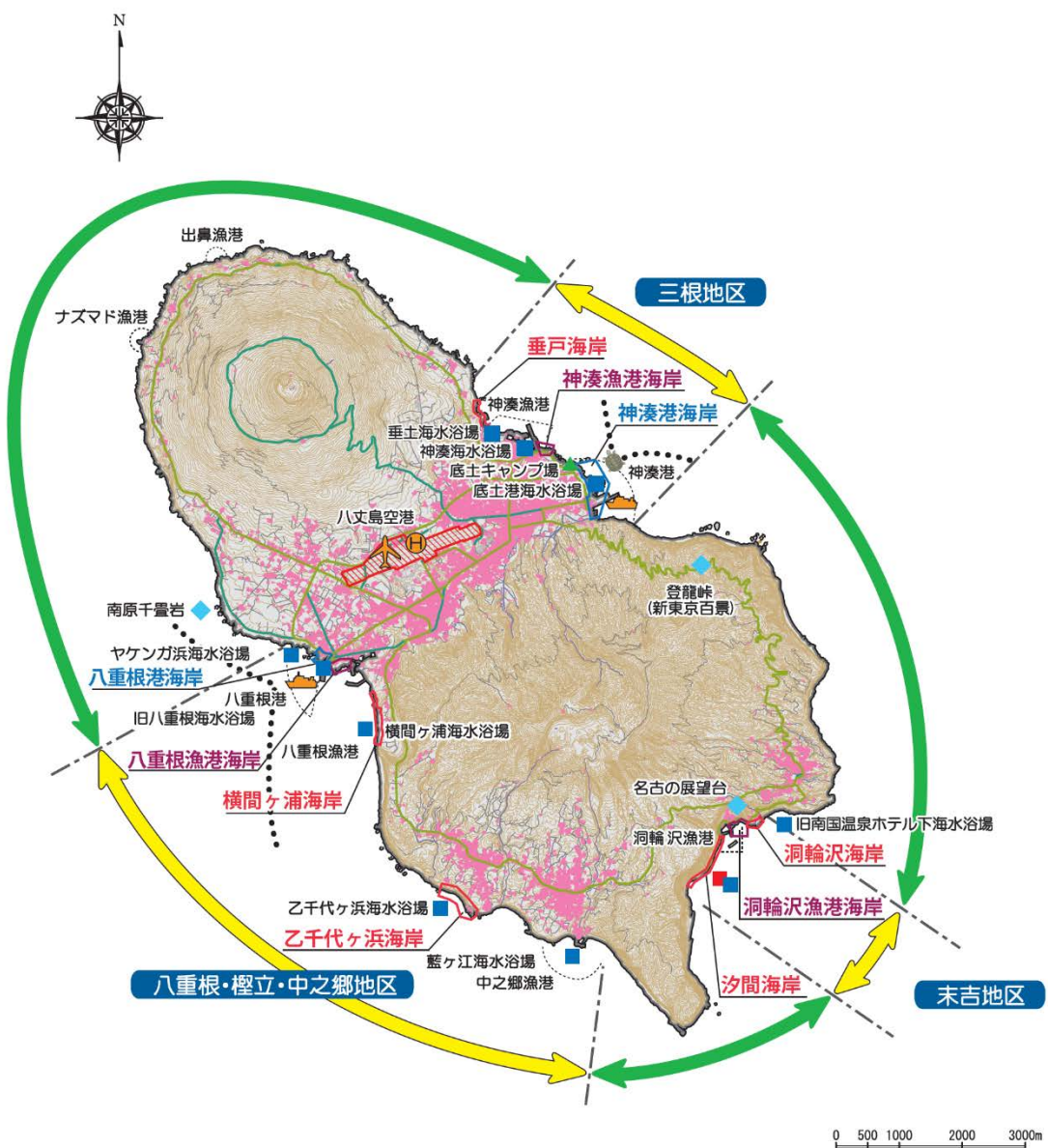
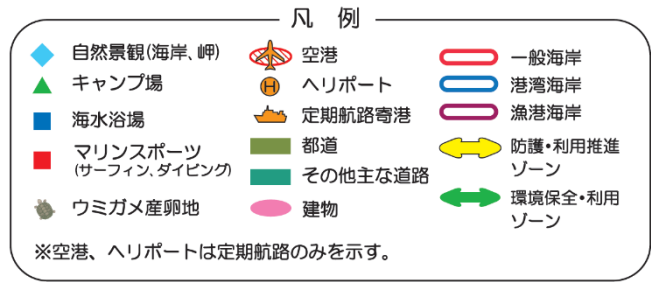


図 4-9 海岸のゾーンと地区区分 (八丈島)

表 4-9 海岸の現況特性及び海岸整備の方向（八丈島）

八重根・榎立・中之郷地区

<p>防護・利用 推進ゾーン</p>	<p>八丈島の南西部に面した地区で、八重根港や八重根漁港の背後には集落があり、海岸線には海水浴場が点在している。</p>
<p>[自然的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 海岸線は、礫浜、玉石、岩礁となっている。 • 海岸背後は、標高が8m以上あり、海岸線は、岩礁や礫浜で構成されている。 • 横間ヶ浦海岸は他の海水浴場と異なり、玉石の海岸となっている。 <p>[社会的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> • ヤケンガ浜、横間ヶ浦、乙千代ヶ浜等は、海水浴場として利用されている。 • 八重根港海岸、八重根漁港海岸、乙千代ヶ浜は、ダイビングスポットとなっている。 • 八重根港や八重根漁港の背後の比較的離れた高台に民家が点在する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="284 660 743 1003">  <p>乙千代ヶ浜海岸（一般海岸） 各種利便施設が整備され、海水浴、磯遊び、バーベキュー、ダイビングなどが楽しめる海岸</p> </div> <div data-bbox="906 660 1366 1003">  <p>横間ヶ浦海岸（一般海岸） 一部利便施設が整備された礫浜ダイビングなどに利用される</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="284 1128 743 1471">  <p>八重根港海岸（港湾海岸） 天然の磯を利用した親水施設が整備され、海水浴、磯遊び、スキンドайビングなどに利用される</p> </div> <div data-bbox="906 1128 1366 1471">  <p>八重根漁港海岸（漁港海岸） 背後の高台に道路、民家が点在する岩礁及び礫浜の海岸</p> </div> </div>	
<p>海岸整備 の方向</p>	<p>• 背後の高台に集落があることから、民家や公共施設への影響が生じないように、適切な維持・管理を行うとともに、ダイビング、磯遊び等の海岸利用を支援し、自然を共に享受できる体験学習の場の形成を図っていく。</p>

三根地区

防護・利用推進ゾーン 八丈島の北東部に面した地区で、神湊港と背後に集落を擁する神湊漁港があり、海岸線は海水浴場やダイビングスポット等として利用されている。

[自然的特性]

- 海岸線は岩礁帯に自然海浜の礫浜や養浜による人工海浜がある。
- 海浜背後は比較的平坦であるが、区域北側の垂戸海岸背後は、急崖である。
- 神湊港海岸では、ウミガメの産卵が確認されている。

[社会的特性]

- 神湊港海岸には、底土キャンプ場・底土園地に隣接する島内最大の底土海水浴場があり、ダイビングスポットにもなっている。
- 垂戸海岸は、海水浴やスキンドайビングに利用されている。
- 神湊漁港の背後の平地に集落が形成されている。
- 神湊港の海上交通により、伊豆諸島の島々や東京等と連絡している。



神湊漁港海岸(漁港海岸)
背後に道路、民家が集中する岩礁及び砂利浜の海岸



神湊港海岸(港湾海岸)
人工海浜が整備され、島で随一の海洋性レクリエーションの場



垂戸海岸(一般海岸)
天然の礫浜及び岩礁スキンドайビングなどに利用される

海岸整備の方向

- 背後に集落があることから、波浪による越波防止や海岸保全施設の拡充を図るとともに、海水浴、マリンスポーツやイベント等の様々な利用への対応を図っていく。
- 環境にも配慮した海岸にしていく。

末吉地区

防護・利用推進ゾーン 八丈島の南東部にある洞輪沢漁港周辺の地区で、海水浴場があるほかサーフィンが盛んな海岸がある。

[自然的特性]

- ・海岸背後は崖地となっており、海岸線は岩礁と礫浜で構成されている。
- ・名古屋の展望は、眼下に洞輪沢を遠方に青ヶ島を望む景勝地となっている。慶応2年（西暦1866年）、常陸の流人鹿島則文が選定した八丈八景のひとつ（名古屋秋月）である。

[社会的特性]

- ・洞輪沢海岸は、海水浴場として利用されている。
- ・夕間海岸の南側は、サーフィンが盛んな海岸となっている。
- ・洞輪沢漁港海岸の背後地には、集落があり、民家、民宿、温泉がある。



洞輪沢海岸（一般海岸）
背後に民家・都道がある岩礁海岸



洞輪沢漁港海岸（漁港海岸）
背後に民家が密集する礫浜



夕間海岸（一般海岸）
背後に急傾斜地の迫る礫浜海岸

海岸整備の方向

- ・背後の民家や道路への越波・浸水を防止するため、海岸の防護を図るとともに、磯遊び等の浜辺にふれあえる空間の形成や浜辺へのアクセスの向上を図っていく。

環境保全・
利用ゾーン

八丈島の北西部及び南東部にある海岸で、海岸のほとんどが磯や崖地である。

[自然的特性]

- 環境保全・利用ゾーンの海岸のほとんどが崖状の地形をしており、海岸線へのアクセスが難しい。
- 八重根港に近い南原千畳岩や新東京百景に選定されている登龍岬など景観性の高い場所が存在する。

[社会的特性]

- 磯や崖地の背後には、集落や公共施設等はない。
- ナズマド漁港は、ダイビングスポットとなっている。



南原千畳岩
八丈富士の噴火によりできた溶岩の台地



登龍岬の展望（新東京百景）



ナズマド（一般公共海岸）と八丈小島

海岸保全
の方向

- 島の外周が崖地となっており、南原千畳岩等の自然景観を保全するとともに、釣りやダイビング等での海岸利用について安全に対する注意を喚起するなど、適切な管理を行っていく。

(9) 青ヶ島

青ヶ島は、島の南西部に位置する青ヶ島港付近が現在、唯一海岸沿いに存在する公共施設であることから、このエリアを防護・利用推進ゾーンに設定し、海岸保全施設整備を推進する（大千代港は現在利用されていない）。

海岸のゾーンと地区区分を図 4-10 に示す。また、地区ごとの現況特性及び海岸整備の方向は、表 4-10 に示す。

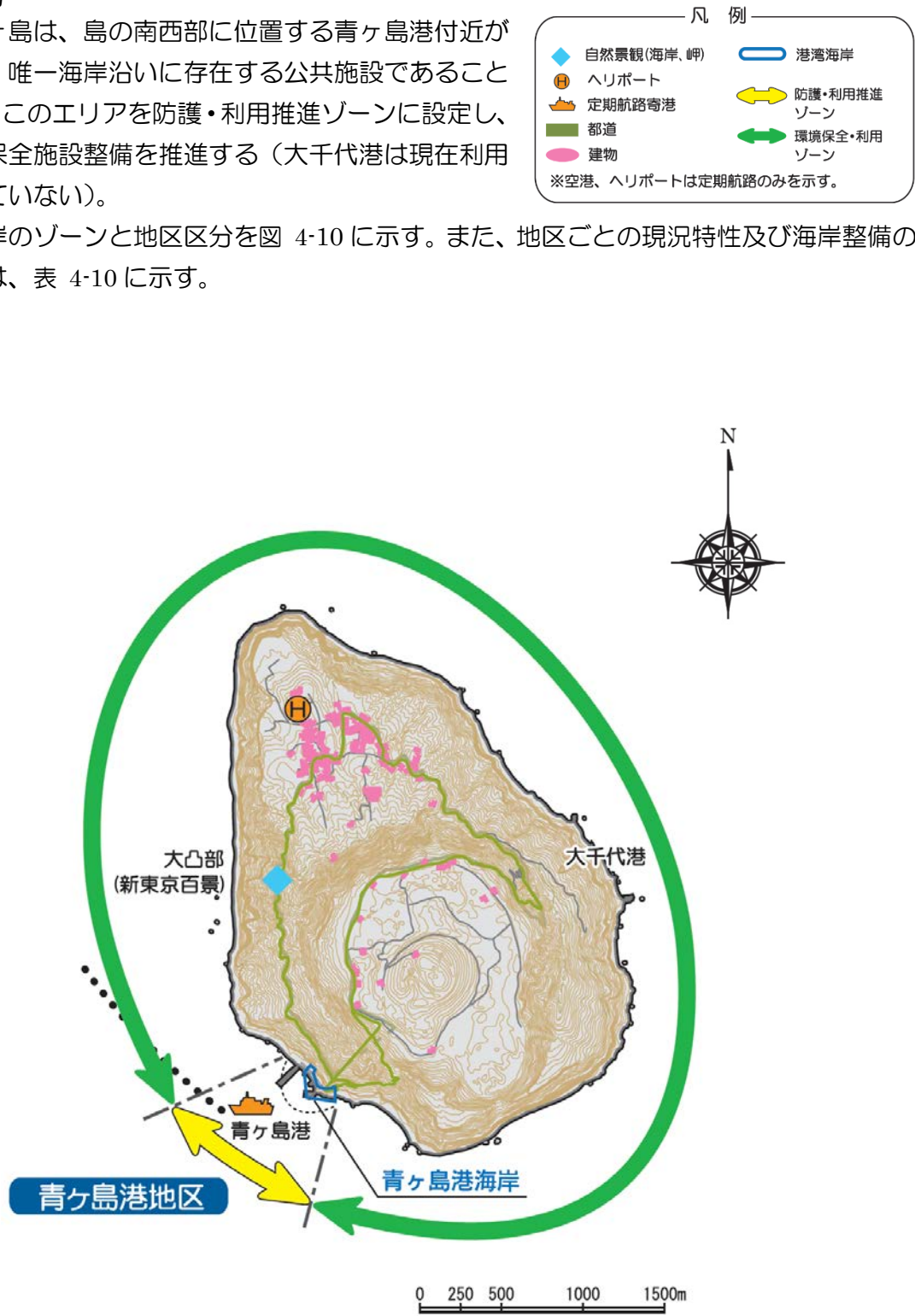


図 4-10 海岸のゾーンと地区区分 (青ヶ島)

表 4-10 海岸の現況特性及び海岸整備の方向（青ヶ島）

青ヶ島港地区

防護・利用 推進ゾーン	<p>青ヶ島の南西部にある青ヶ島港周辺の地区で、海岸線は急な崖となっている。</p> <p>[自然的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 海岸線には、岩礁や転石があり、背後は崖斜面の崩壊が著しい。 <p>[社会的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 集落は、外輪山北側の丘陵地帯に集中しており、島の人口 161 人である（平成 28 年 11 月 1 日現在、広報あおがしま）。 島で唯一利用できる青ヶ島港は、海上交通の拠点であり、平成 27 年度の船舶による来島者は、1,205 人となっている（広報あおがしま）。 海岸にアクセスできる数少ない場所である青ヶ島港では、港湾施設を利用した海水浴が行われている。 港と集落を結ぶ都道のうち、外輪山のルートはがけ崩れのため通行止めとなっているが、内輪山を経由するルートが通行可能である。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>青ヶ島港海岸（港湾海岸）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>青ヶ島港海岸（港湾海岸）</p> </div> </div>
海岸整備 の方向	<p>崖海岸の侵食傾向が確認された場合には、海岸保全施設の整備を検討していくとともに、海岸利用については将来的な港湾利用形態との整合を図りながら検討していく。</p>

環境保全・ 利用ゾーン	<p>青ヶ島港周辺以外の海岸で、海岸線は断崖絶壁となっている。</p> <p>[自然的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 島全周が断崖絶壁であり、海岸へのアクセスが容易ではない。 <p>[社会的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 断崖絶壁の背後には、特に集落や公共施設等はない。
海岸保全 の方向	<p>島の外周が崖地となっており、自然景観を保全するとともに、釣り等での海岸利用について安全に対する注意を喚起するなど、適切な管理を行っていく。</p>

(10) 父 島

父島は、二見湾内に人口が集中していることから、二見港、二見漁港を中心とした地区を防護・利用推進ゾーンとし、必要に応じて海岸保全区域の設定等を検討していく。海岸のゾーンと地区区分を図4-11に示す。また、地区ごとの現況特性及び海岸整備の方向を表4-11に示す。

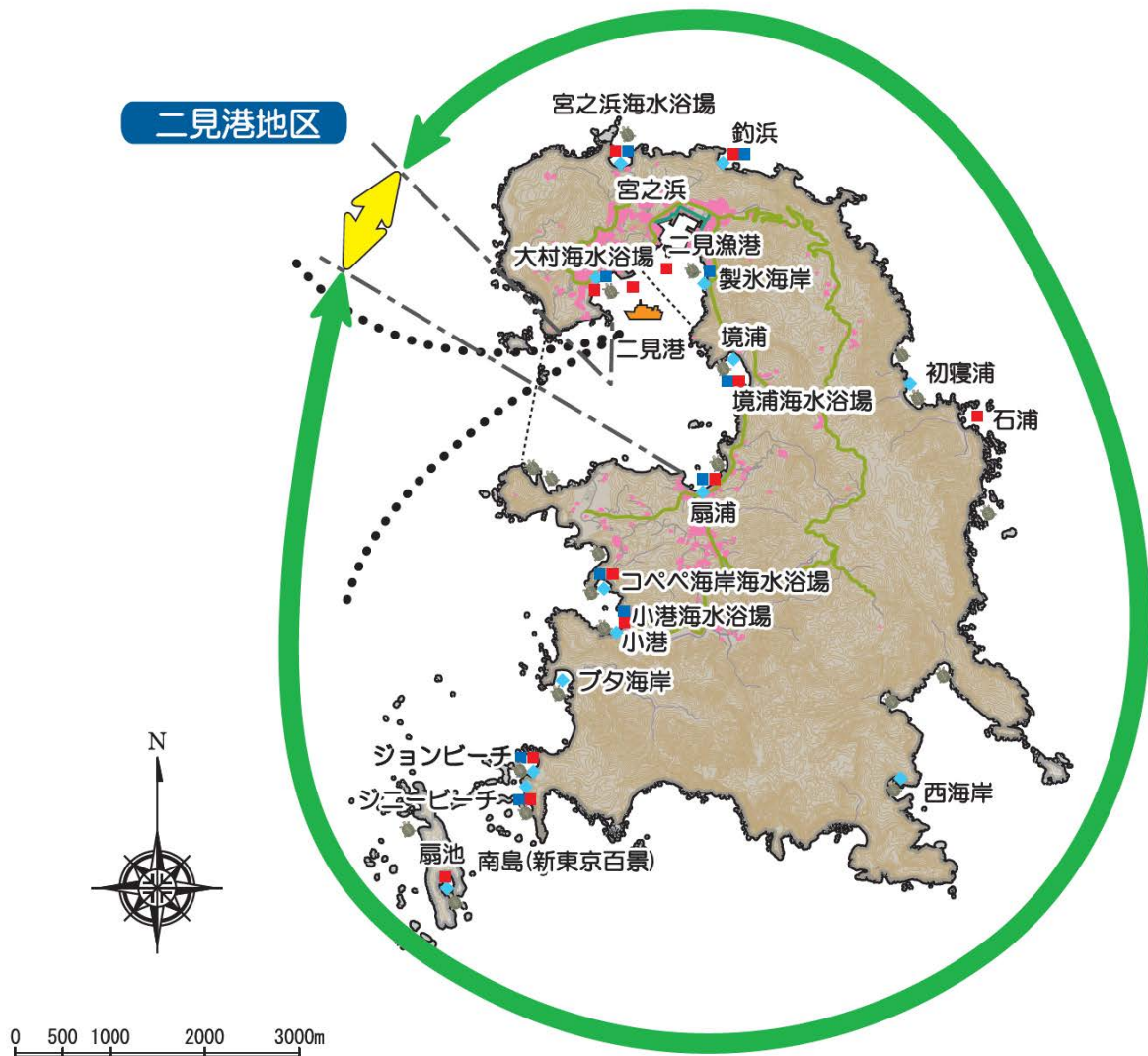
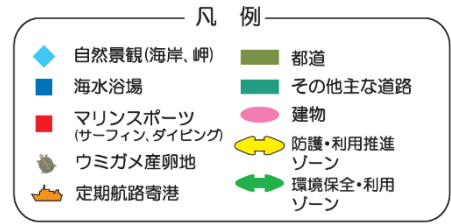


図 4-11 海岸のゾーンと地区区分 (父島)

表 4-11 海岸の現況特性及び海岸整備の方向（父島）

二見港地区

防護・利用 推進ゾーン	小笠原の玄関口となっている二見港周辺の地区で、背後に集落が形成され、海岸は海水浴等に利用されている。
<p>[自然的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二見港は、湾奥に位置する天然の良港である。 ・砂浜の多くでは、ウミガメの上陸・産卵がみられる。 ・周辺では、イルカやクジラ、アカガシラカラスバト等の貴重な動植物がみられる。 <p>[社会的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・L1 津波による背後地の浸水が想定されている。このため、海岸保全施設整備の必要性について検討を行ったが、村の要望書による「保全機能確保の中で提案されている対策については、事業規模が莫大であり、小笠原を取り巻く状況の中では、現実的な対応策とは考え難い」という意見も踏まえて、現在は、ソフト対策や緊急輸送機能の確保による対応を行っている。 ・二見港は小笠原の玄関口となっており、背後には集落がある。 ・小笠原の歴史や自然を紹介する小笠原ビジターセンターやウミガメの保護と研究のための小笠原海洋センター等の施設がある。 ・二見港に近接する大村海岸は、海水浴やウインドサーフィンに利用されている。また、二見港、二見漁港の防波堤口に建つ青灯台・赤灯台周辺の海域は、熱帯・亜熱帯に生息する魚類が多く、シュノーケリングに利用されている。 	
海岸整備 の方向	<ul style="list-style-type: none"> ・必要が生じた場合は、海岸保全区域の設定について検討していくとともに、体験学習型の環境教育・環境学習の場として多くの人々が円滑に海岸を利用できるように努めていく。 ・環境にも配慮した海岸にしていく。



二見港（港湾区域）

環境保全・ 利用ゾーン	サンゴ礁が豊富に形成されており、海水浴、シュノーケリングに利用されている。
<p>[自然的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンゴが多い遠浅の海岸や白浜海岸は、美しい自然景観を形成している。 ・砂浜の多くは、ウミガメの産卵地となっている。 ・海岸線は、溶岩が隆起して形成されたもので、その海岸線のほとんどが国立公園特別保護地区に指定されている。 <p>[社会的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小港海岸やコペペ海岸等は、海水浴やシュノーケリングに利用されている。 ・海岸背後には、特に集落や公共施設等はない。 ・海岸部では、小笠原諸島等への外来種の拡散を防止するため外来種対策が行われている。 	
海岸保全 の方向	<ul style="list-style-type: none"> ・サンゴやウミガメ類をはじめとする自然環境の保全や、地元と調整を図った海岸の利用に関する適正な管理を検討していく。



小港海岸（一般公共海岸）

(11) 母島

母島は、沖港付近に人口が集中していることから、沖港を中心とした地区を利用推進ゾーンとし、必要に応じて海岸保全区域の設定等を検討していく。

海岸のゾーンと地区区分を図 4-12 に示す。また、地区ごとの現況特性及び海岸整備の方向を表 4-12 に示す。

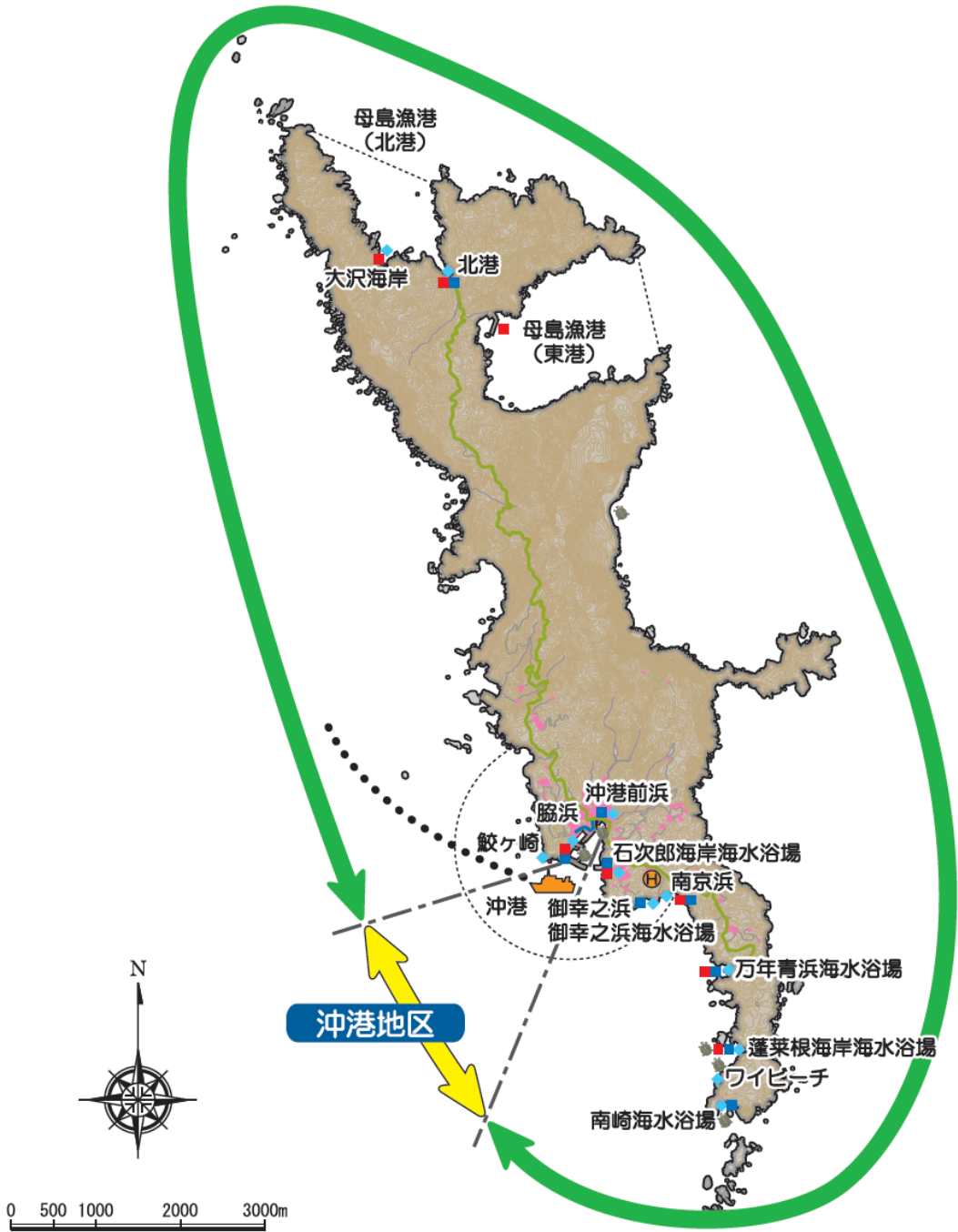
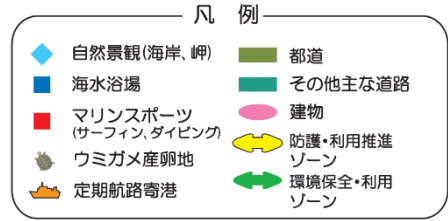


図 4-12 海岸のゾーンと地区区分 (母島)

表 4-12 海岸の現況特性及び海岸整備の方向（母島）

沖港地区

<p>防護・利用 推進ゾーン</p>	<p>母島の沖港周辺の地区であり、背後に集落が形成され、海岸は海水浴等に利用されている。</p>
	<p>[自然的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖港は、天然の良港である。 ・砂浜の多くは、ウミガメの上陸・産卵がみられる。 ・周辺では、イルカやクジラ、アカガシラカラスバト等の貴重な動植物がみられる。 <p>[社会的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・L1 津波による背後地の浸水が想定されている。このため、海岸保全施設整備の必要性について検討を行ったが、村の要望書による「保全機能確保の中で提案されている対策については、事業規模が莫大であり、小笠原を取り巻く状況の中では、現実的な対応策とは考え難い」という意見も踏まえて、現在は、ソフト対策や緊急輸送機能の確保による対応を行っている。 ・沖港は、父島（二見港）との海上交通の拠点である。 ・沖港前浜は、海水浴やボードセーリングに利用されている。 ・沖港の背後には、集落が形成されている。 ・脇浜なぎさ公園にはウミガメの産卵場が整備されている。
<p>海岸整備 の方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集落に近く気軽に利用されている海岸であることから、侵食等により背後の民家や公共施設への影響が生じないように、必要に応じて、海岸保全区域の設定について検討していくとともに、多くの人々が利用できるような海岸づくりに努めていく。 ・環境に配慮した海岸にしていく。



沖港（港湾区域）

環境保全・
利用ゾーン

母島の沖港地区以外の地区であり、サンゴの多い遠浅の海岸や砂浜海岸がある。

[自然的特性]

- サンゴが多い遠浅の海岸や砂浜の海岸であり、砂浜の多くはウミガメの産卵場となっている。
- 海岸線のほとんどが国立公園特別保護地区や第1種特別地域に指定されている。
- イルカやクジラ、アカガシラカラスバト等の貴重な動植物がみられる。

[社会的特性]

- 御幸之浜、万年青浜や蓬莱根等は、海水浴やシュノーケリングに利用されている。
- 母島石門一帯では、自然環境を生かしたエコツーリズムが進められている。
- 海岸の背後には、集落や公共施設等はない。



御幸之浜※（一般公共海岸）



蓬莱根※（一般公共海岸）

※小笠原母島観光協会 HP より (<http://www.hahajima.com/map/kankoumap.html>)

海岸保全
の方向

- サンゴやウミガメ類をはじめとする自然環境の保全や、地元と調整を図った海岸利用に関する適正な管理を検討していく。

(12) 沖ノ鳥島

海岸のゾーンを図 4-13 に示す。また、海岸の現況特性及び海岸整備の方向を表 4-13 に示す。

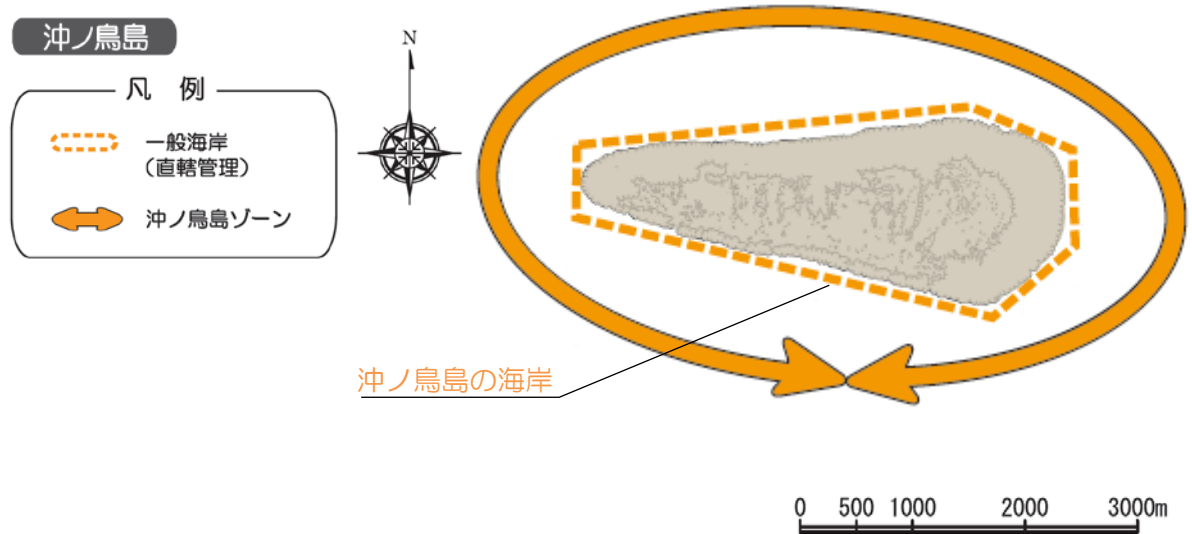


図 4-13 海岸のゾーンと地区区分 (沖ノ鳥島)

表 4-13 海岸の現況特性及び海岸整備の方向 (沖ノ鳥島)

沖ノ鳥島

<p>沖ノ鳥島 ゾーン</p>	<p>我が国最南端の島であり、我が国の排他的経済水域を確保するために、島の維持保全が重要である。</p>
<p>[自然的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京から約 1,700km 我が国最南端の島である。 東西 4.5km、南北 1.7km、周囲 11km のサンゴ礁からなり、満潮時には北小島、東小島が海面上に残る。 <p>[社会的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の排他的経済水域等の面から重要な位置にあり、侵食により水没しないように防護を行い維持保全に努めている。 	
<p>海岸整備 の方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> 小島の円形護岸、観測所基盤等海岸保全施設の維持管理・補修および調査・監視を行う。併せて、小島の恒久的な保全対策および島全体の保全のために必要な調査を行い、防護を図る。 サンゴ礁の維持・回復技術の調査・研究を推進し、サンゴ礁を保全する。また、これをとりまく生態系を保全することにより、リーフによる防護機能の確保を図る。 特殊な海洋環境などを生かした地球環境監視のための調査・観測、海洋資源や新材料の調査研究・開発の場としての継続的な活用を図る。その際、観測所基盤等における施設の充実を図るとともに、関係機関との協力体制を構築する。

(13) 無人島等

海岸の現況特性及び海岸整備の方向を表 4-14 に示す。

表 4-14 海岸の現況特性及び海岸整備の方向（無人島等）

無人島等

<p>環境保全・ 利用ゾーン</p>	<p>限られた用途に使用されている硫黄島や南鳥島、その他の無人島は、ほぼ自然のままの海岸となっている。</p>
<p>[自然的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥島はアホウドリの営巣地であり、島全体が国の天然保護区域に指定されている。 南硫黄島は、原生の状態にあり、島全体が国の天然保護区域及び原生自然環境保全地域に指定されている。 八丈小島（八丈町）、地内島（新島村）などの無人島は、崖地や岩礁であり、島内は海鳥や野性化した山羊の生息地となっている。また、周辺海域はアワビ等の磯根漁場やカツオ・マグロ等の漁場となっている。 <p>[社会的特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 南鳥島には、気象観測施設があり、気象庁・海上保安庁の職員等が駐在している。 硫黄島には、自衛隊施設があり、海上自衛隊・航空自衛隊の隊員等が駐在している。 磯釣りの名所として八丈小島があるほか、地内島・聳島（むこじま）ではダイビングに利用されている。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="293 1003 802 1384">  </div> <div data-bbox="884 1003 1393 1384">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="304 1393 572 1420"> <p>八丈小島（一般公共海岸）</p> </div> <div data-bbox="895 1393 1137 1420"> <p>地内島（一般公共海岸）</p> </div> </div>	
<p>海岸保全 の方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然環境及び貴重な動植物の生息環境を保全する。 磯釣り等の利用者がアクセスする可能性のある無人島の海岸では、釣り船経営者、ダイビングショップのインストラクターなどに対して、海岸利用の際の注意点・危険度等について周知する。

4-2 海岸保全施設の整備に関する事項

「4-1 地区毎の海岸整備の方向性」に基づき、海岸の保全のために実施する。海岸保全施設の新設又は改良に関する事項及び維持又は修繕に関する事項について以下の通りとりまとめた。

4-2-1 海岸保全施設を整備しようとする区域

本計画では、「第3章 3-2-1 (1) 海岸の防護目標」で定めた防護すべき地域のうち、越波・浸水等の高潮災害の状況、海浜の侵食の有無、既存海岸保全施設の維持又は修繕の必要性及び海岸整備に関する地元住民からの要望等を総合的に勘案して、海岸保全施設を整備しようとする区域を定めている。

＜検討の対象海岸選定の基本的な考え方＞

- ①海岸法が適用される全ての海岸を対象として、海岸背後に保全対象（家屋、公共施設、生活道路）が存在する海岸を抽出する。
- ②砂浜等を有する海浜のうち、環境保全の面から砂浜の維持が必要な海岸及び海水浴等に利用されている海岸を抽出する。
- ③侵食を防止するために既に海岸保全施設を整備している海岸のうち、今後さらに侵食が進行することで、これらの施設の被災が懸念される海岸を抽出する。
- ④維持又は修繕の対象となる海岸を抽出する。

(1) 一般海岸

背後に集落や公共施設、生活道路等が位置している海岸及び砂浜が形成されている海岸を抽出する。全ての海岸が上記②、③の条件に該当することから、25 海岸を検討の対象海岸とする。

(2) 港湾・漁港海岸

港湾海岸及び漁港海岸のほとんどでは、背後に集落や公共施設、生活道路等が位置している。また、海水浴等に利用されている砂浜を有する海岸も多く、全ての海岸が上記①、②、③のいずれかに該当する。港湾海岸 12 箇所及び漁港海岸 10 箇所の計 22 海岸すべてを検討の対象海岸とする。

上記で抽出した 47 海岸及び国が管理する沖ノ島島を加えた 48 海岸について、既存海岸保全施設の老朽化及び機能低下の有無、現在の施設整備状況、高潮による越波・浸水等に対する防護水準、侵食に対する海浜の安定性、及び海岸整備に関する地元住民からの要望の有無について検討した（表 4-15 参照）。

表 4-15 海岸保全施設の整備対象海岸

注) 平成29年4月時点

島名 (町村名)	ゾーン特性 の区分	地区	番号	海岸名	海岸の区分				保全区域 指定	海岸保全 施設	長寿 命化 計画 ※	新設 改良 計画 ※	津波高と津波による浸水予測*			対象地震	
					一般 海岸	港 湾 海岸	漁 港 海岸	直 轄 海岸					L1津波		L1津波 水位 T.P.+(m)		
													浸水	海岸線での 津波高 T.P.+(m)			設計津波の 水位 T.P.+(m)
大島 (大島町)	防護・利用推進 ゾーン	岡田・元町・ 泉津地区	1.1	湯の浜	○				有	有	○	改良	無	4.14	4.63	安政東海	
			1.2	野増漁港		○			有	有	○			無	4.14	4.63	安政東海
			1.3	元町漁港		○			有	無	-			無	4.14	4.63	安政東海
			1.4	元町港			○		有	有	○			無	4.14	4.63	安政東海
			1.5	泉浜		○			有	有	○		改良	無	4.14	4.63	安政東海
			1.6	岡田漁港			○		有	無	-			無	3.26	3.28	宝永
			1.7	岡田港			○		有	有	○			無	3.26	3.28	宝永
			1.8	泉津		○			有	有	○			無	1.68	1.80	大正関東
			1.9	泉津漁港			○		有	有	○			無	1.68	1.80	大正関東
			1.10	行者		○			有	有	○			無	1.87	2.50	安政東海
			1.11	鞆島		○			有	有	○			無	2.46	2.83	安政東海
			1.12	波浮港			○		有	有	○			無	2.46	2.83	安政東海
			1.13	トウシキ		○			有	無	-			無	3.56	3.86	安政東海
			1.14	砂浜 (さのはま)		○			有	有	○		改良	無	3.56	3.86	安政東海
			1.15	差木地漁港			○		有	無	-			無	3.56	3.86	安政東海
利島 (利島村)	防護・利用推進 ゾーン	利島前浜地区	2.1	前浜		○			有	有	○		無	4.44	4.66	安政東海	
			2.2	利島港		○			有	有	○			無	4.44	4.66	安政東海
			3.1	間々下浦		○			有	有	○		改良	無	5.58	6.12	宝永
			3.2	新島港		○			有	有	○		新設	無	5.53	5.03	想定 東・東・南
			3.3	和田浜		○			有	有	○		改良	無	5.53	5.03	想定 東・東・南
			3.4	若郷漁港			○			有	有	○	新設 改良	無	8.22	8.86	想定 東・東・南
			3.5	若郷		○			有	有	○		改良	有	8.22	8.86	想定 東・東・南
			3.6	羽伏浦		○			有	有	○		改良	無	4.84	5.03	想定 東・東・南
			3.7	淡井浦		○			有	無	-			無	3.95	3.14	想定 東・南
			4.1	釜の下		○			有	有	○		改良	無	3.58	3.63	安政東海
神津島 (神津島村)	防護・利用推進 ゾーン	神津・沢尻長浜地区	5.1	神津島港		○			有	有	○		無	6.27	7.03	宝永	
			5.2	沢尻・長浜		○			有	有	○			有	6.63	7.19	想定 東・東・南
			5.3	多幸浜		○			有	有	○		改良	無	4.25	4.61	安政東海
			6.1	阿古漁港			○		有	有	○		新設 改良	無	3.07	3.44	安政東海
			6.2	阿古		○			有	有	○		改良	無	3.43	3.92	想定 東・東・南
			6.3	大久保港		○			有	有	○		新設	無	3.82	5.39	想定 東・東・南
			6.4	三池港		○			有	有	○		新設 改良	無	4.23	4.64	大正関東
			6.5	横まま		○			有	有	○		新設 改良	無	4.47	4.47	宝永
			6.6	ナゴラ		○			有	有	○		改良	無	4.47	4.47	宝永
			7.1	御蔵島港		○			有	有	○			無	2.64	2.69	想定 東・東・南
三宅島 (三宅村)	防護・利用推進 ゾーン	三宅地区	7.2	御蔵		○			有	有	○	改良	無	2.64	2.69	想定 東・東・南	
			8.1	垂戸		○			有	有	○		改良	無	6.28	6.02	想定 東・東・南
			8.2	神湊漁港			○		有	有	○			無	6.28	6.02	想定 東・東・南
			8.3	神湊港			○		有	有	○		改良	無	6.28	6.02	想定 東・東・南
			8.4	洞輪沢		○			有	有	○			無	8.76	11.08	大正関東
			8.5	洞輪沢漁港			○		有	有	○			有	8.76	11.08	大正関東
			8.6	汐間		○			有	有	○		改良	無	8.76	11.08	大正関東
			8.7	乙千代ヶ浜		○			有	有	○			無	4.57	5.37	宝永
			8.8	横間ヶ浦		○			有	有	○		改良	無	5.41	5.81	宝永
			8.9	八重根漁港			○		有	有	○			無	5.41	5.81	宝永
八丈島 (八丈町)	防護・利用推進 ゾーン	八重根・樫立・ 中之郷地区	8.10	八重根港		○			有	無	-		無	5.41	5.81	宝永	
			9.1	青ヶ島港		○			有	有	○			無	3.77	4.04	安政東海
			-	沖ノ鳥島				○		有	有	-		-	-	-	-

※1) 長寿命化計画の策定状況を示す。

○：長寿命化計画の検討済み。 -：計画策定なし。

※2) 海岸保全施設の建設及び改良計画の有無を示す。

新設：新設計画あり。 改良：改良計画あり。

※3) 津波高と津波による浸水予測は「平成24年度伊豆小笠原諸島沿岸津波対策等検討調査委託報告書（平成25年3月）」より、津波高及び対象地震、L1津波による背後の居住地等の浸水予測状況を示す。

有：L1津波により背後の集落への浸水あり。 無：L1津波による浸水なし。 -：浸水予測結果なし。

※4) 父島、母島(小笠原村)については、海岸保全区域の指定がないため記載していない。

4-2-2 海岸の状況

町村の情報や町村ヒアリング及びアンケート等から海岸の利用等の状況についてまとめた海岸の状況を、別冊資料の海岸保全施設の整備に関する事項一覧表に示す。

4-2-3 海岸保全施設の状況（施設の種類、新設又は改良、規模）

海岸保全施設の種類、規模及び配置等については、海岸保全施設を整備（新設又は改良）しようとする区域において、各島のゾーニングと施策等を踏まえて適切に設定する。海岸保全施設の種類とその概要及び整備イメージ等を、図 4-14 に示す。

海岸保全施設を新設又は改良とする区域内で、整備しようとする海岸保全施設の配置を別冊資料の海岸保全施設の整備計画図に、種類及び規模を別冊資料の海岸保全施設の整備に関する事項一覧表に示す。

4-2-4 受益の地域及びその状況

受益地域は、海岸保全施設の新設又は改良によって、津波、高潮、越波、海岸侵食等による海岸災害から防護される地域である。受益の地域及び現況の土地利用の状況を、別冊資料の海岸保全施設の整備に関する事項一覧表に示す。

4-2-5 海岸保全施設の維持又は修繕の方法

海岸保全施設の数回/年程度の巡視、1回/5年程度の定期点検を行い、施設の損傷・劣化、その他の変状の把握に努め、変状が認められたときは、適切な維持・修繕等の処置を講じ、施設の機能維持を図る。

また、今後、急速に老朽化が進行することが見込まれていることから、費用の軽減や平準化を図りつつ、所要の機能を確保するために、長寿命化計画を策定し、施設の良好な状態を保つよう、計画的な維持又は修繕を実施していく。

各海岸における維持又は修繕の方法を別冊資料の海岸保全施設の整備に関する事項一覧表に示す。

4-2-6 海岸整備の方針

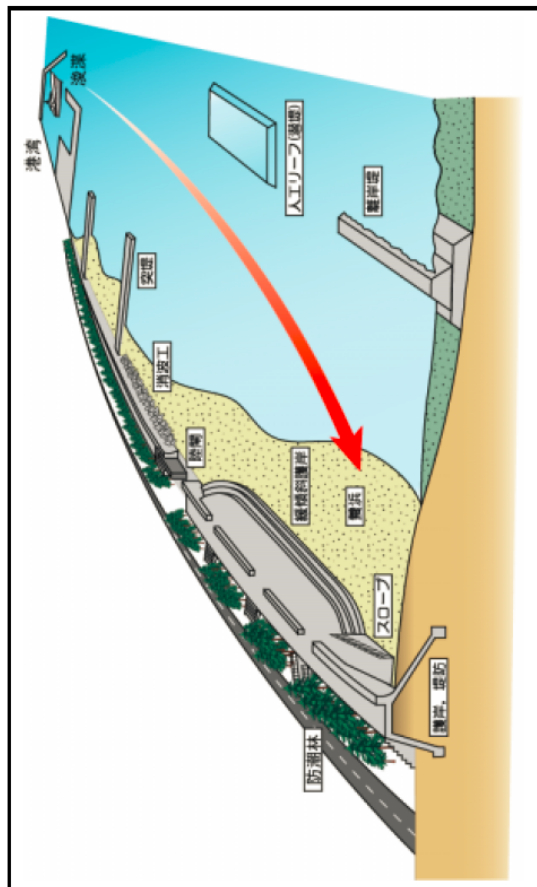
前計画の整備方針、現在の状況、各地区の海岸整備の方向性、また、町村ヒアリング及びアンケート等を踏まえた各海岸の整備の方針を別冊資料の海岸保全施設の整備に関する事項一覧表に示す。

～ 海岸保全施設の種類とその概要 ～

海岸保全施設の種類	施設の概要	イメージ図
堤防	現地盤を盛土やコンクリート打設などによって嵩上げし、高潮、津波による海水の進入を防止し、波浪による越波を減少させるとともに、陸域が侵食されるのを防止する施設。	
護岸	現地盤を石やコンクリートなどによって被覆し、高潮、津波による海水の進入を防止し、波浪による越波を減少させるとともに、陸域が侵食されるのを防止する施設。	
緩傾斜護岸	護岸のうち、傾斜が緩やかで、海辺へのアクセス性や親水性に優れた施設。	
消波工	護岸などの前面に設置し、波のうちあげや越波量および衝撃砕波圧を減するための施設。	
突堤	海岸線と平行方向への砂移動(漂砂)の大きい海岸で、海岸から突出して設けられるもので、漂砂を制御することによって汀線の維持あるいは前進を図ることを目的とした施設。	
離岸堤	汀線から離れた沖合の海面に、汀線にほぼ平行に設けられるもので、沖合からの波浪を小さくすることを目的とするものや、背後に砂を貯え、侵食防止や海浜の造成を目的とする施設。	
人工リーフ(潜堤)	珊瑚礁がもつ波消滅減衰効果を模したものであり、離岸堤とほぼ同じ目的、効果を有しているが、海岸の景観や眺望に配慮し、堤体を海面下にとめた施設。	
養浜	侵食された海岸に人工的に砂を供給することによって、海岸侵食や波浪、越波の軽減を目的とするものや海水浴場等の造成を目的とした施設。	
陸間	堤防、胸壁の前面の海浜、港湾・漁港等を利用するために、車両、人の通行が可能ないように設けた門扉等の施設。	

注) 上記の海岸保全施設は、基本的な施設を示したものである。

～ 海岸整備イメージ ～



～ 伊豆小笠原諸島沿岸海岸での整備事例 ～

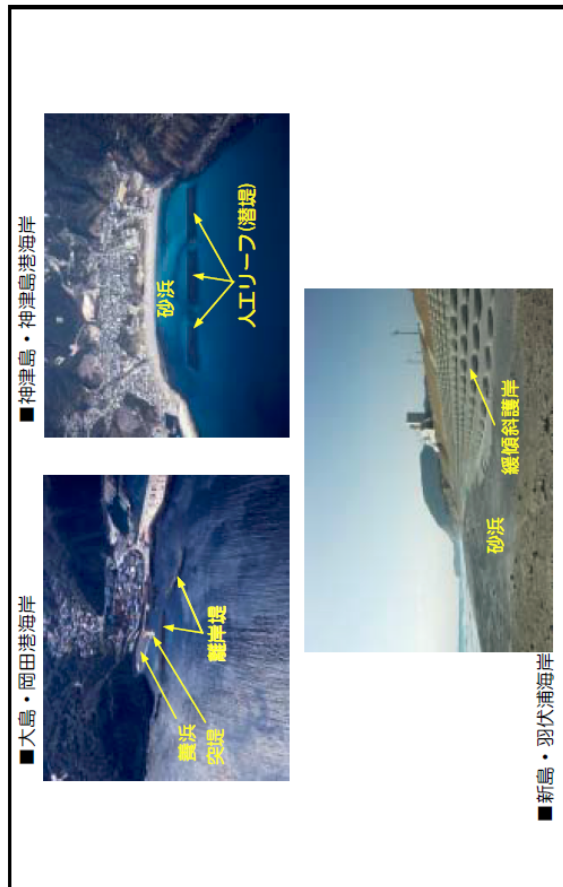


図 4-14 対象海岸の整備イメージ及び海岸保全施設の種類の概要